

航空法第111条の4に基づく報告一覧(平成27年4月～平成28年3月)

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/1	日本航空	ボーイング式777-300型	JA8941	東京国際空港	新千歳空港	出発前の点検中、非常時に乗降用扉を開ける装置の不具合を発見した。	
4/1	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA215J	大阪国際空港	花巻空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/2	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8971	那覇空港	成田国際空港	離陸時、最大離陸重量を超過した。	
4/2	琉球エアークommuter	デ・ハビランド式DHC-8-103型	JA8972	多良間空港	宮古空港	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	
4/3	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA03RJ	広島空港	成田国際空港	着陸時、右主翼端を滑走路に接触させた。	
4/3	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA624A	ヤンゴン	成田国際空港	離陸後、飛行禁止区域を飛行した。	
4/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA20MC	東京国際空港	北九州空港	社内調査の結果、トイレの便座部に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
4/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA23MC	東京国際空港	北九州空港	社内調査の結果、トイレの便座部に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
4/4	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA822A	成田国際空港	シアトル	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/4	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA604A	那覇空港	成田国際空港	離陸時、最大離陸重量を超過した。	
4/4	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA743J	東京国際空港	パリ	運航整備中、乗客用座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることを発見した。	
4/4	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8670	高松空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/4	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC	東京国際空港	北九州空港	社内調査の結果、トイレの便座部に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
4/4	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA08MC	東京国際空港	北九州空港	社内調査の結果、トイレの便座部に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
4/4	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA02JJ	福岡空港	成田国際空港	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
4/5	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8299	東京国際空港	徳島空港	着陸進入時、滑走路上の作業車両を確認したため、着陸復行した。	重大インシデント
4/5	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA780A	成田国際空港	サンフランシスコ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/5	琉球エアークommuter	ボンバルディア式DHC-8-314型	JA8936	那覇空港	与論空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/5	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA09MC	東京国際空港	北九州空港	社内調査の結果、トイレの便座部に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
4/6	日本航空	ボーイング式787-8型	JA826J	モスクワ	成田国際空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、右主脚及び脚厚が正常に格納されていないことを示す計器表示があったため、引き返した。	レギュラー運航
4/6	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA810X	宮崎空港	東京国際空港	上昇中、左右の速度表示に差異があることを示す計器表示があったため、引き返した。	レギュラー運航
4/6	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA814A	東京国際空港	成田国際空港	着陸時、最大着陸重量を超過した。	
4/6	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA07MC	東京国際空港	北九州空港	社内調査の結果、トイレの便座部に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
4/6	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA06MC	東京国際空港	北九州空港	社内調査の結果、トイレの便座部に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
4/6	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA04RJ			社内確認の結果、補助動力装置の滑油冷却器の交換期限を超過していることが判明した。	
4/7	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8525	新石垣空港	那覇空港	離陸滑走中、鳥と衝突したため、離陸を中止した。	レギュラー運航
4/7	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA732J	ロンドン	東京国際空港	自社事例の水平展開の結果、乗客用座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
4/7	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA736J	フランクフルト	成田国際空港	自社事例の水平展開の結果、乗客用座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
4/7	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA04KZ	シンガポール	成田国際空港	危険物が誤輸送された。	
4/8	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA08KZ	関西国際空港	シンガポール	巡航中、気流の擾乱により管制指示高度を逸脱した。	
4/8	日本航空	ボーイング式777-200型	JA008D	東京国際空港	新千歳空港	上昇中、第2エンジンから異音及び振動が発生したため、当該エンジンを停止し航空交通管制上の優先権を要請のうえ、引き返した。	レギュラー運航
4/8	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ			整備の実施状況の確認の結果、パイロットの点検期限が超過したことが判明した。	
4/8	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA804X	熊本空港	東京国際空港	整備作業後の確認に不備があった。	
4/8	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA735J	ニューヨーク	成田国際空港	自社事例の水平展開の結果、乗客用座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
4/8	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA739J	ロンドン	東京国際空港	自社事例の水平展開の結果、乗客用座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
4/8	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA740J	ロサンゼルス	成田国際空港	自社事例の水平展開の結果、乗客用座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/9	日本航空	ボーイング式737-800型	JA323J	青森空港	東京国際空港	離陸時、鳥衝突により第2エンジンの吸音板が損傷した。	
4/9	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ			定時点検中、貨物室内の構造部に亀裂を発見した。	
4/9	日本航空	ボーイング式737-800型	JA331J	帯広空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/9	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA742J	ロサンゼルス	成田国際空港	自社事例の水平展開の結果、乗客用座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
4/9	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ			自社事例の水平展開の結果、非常脱出用スライドの点検期限が超過したことが判明した。	
4/9	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A	新潟空港	新千歳空港	出発前の点検中、客室内の酸素ボットの圧力が0になっていることを発見した。	
4/10	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA306K	石垣空港	那覇空港	離陸中止した際、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/10	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8360	東京国際空港	岡山空港	運用許容基準の適用に不備があった。	
4/10	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA738J	ロサンゼルス	成田国際空港	自社事例の水平展開の結果、乗客用座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
4/10	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA741J	ニューヨーク	成田国際空港	自社事例の水平展開の結果、乗客用座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
4/10	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA209J	新千歳空港	秋田空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/11	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA08KZ	フランクフルト	ミラノ	降下中、右燃料タンクの燃料油量計の表示に不具合が生じた。	
4/11	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA734J	ニューヨーク	成田国際空港	自社事例の水平展開の結果、乗客用座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
4/11	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300型	JA622A	青島(中国)	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
4/13	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA601A			定時整備中、右側前方のサービス扉の構造部に亀裂を発見した。	
4/13	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA03GR	広島空港	成田国際空港	巡航中、ウインドシアー警報が不作動であることを示す計器表示があった。	
4/14	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA06FJ	名古屋飛行場	熊本空港	運航乗務員が必要な訓練を受けずに乗務したことが判明した。	
4/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NU	福岡空港	百里飛行場	地上走行中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
4/14	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA07KZ			定時整備中、右主脚の非常脚下げ装置の不具合を発見した。	
4/14	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8938			定時整備中、右主翼の構造部に亀裂を発見した。	
4/14	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA207J	新千歳空港	秋田空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、操作レバーの位置と前脚の位置が不一致であることを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
4/15	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8365	徳島飛行場	東京国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/15	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA601A			定時整備中、左側パイロンのパネル切り欠き部に亀裂を発見した。	
4/15	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8597	新石垣空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/15	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8998	那覇空港	宮古空港	到着後、前方乗降用扉に不具合が発生した。	
4/15	日本航空	ボーイング式737-800型	JA312J	台北	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
4/15	日本航空	ボーイング式737-800型	JA319J	新千歳空港	福岡空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/16	日本航空	ボーイング式737-800型	JA305J	北京	成田国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NF	神戸空港	百里飛行場	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/16	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA03JJ			定時整備中、非常用風力発電機(ラムエア・タービン)が誤作動した。	
4/16	全日本空輸	エアバス式A320-211型	JA8394	東京国際空港	大分空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/16	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA03GR	成田国際空港	佐賀空港	エンジン始動時、抽出空気漏洩感知システムの不具合を示すライトが点灯した。	
4/17	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8365	東京国際空港	那覇空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/17	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA716A	東京国際空港	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/18	日本航空	ボーイング式737-800型	JA339J	大阪国際空港	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
4/18	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA804X	熊本空港	東京国際空港	巡航中、一時的に操縦性の低下があった。	
4/18	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA804X	宮崎空港	東京国際空港	巡航中、一時的に操縦性の低下があった。	
4/18	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA804X	東京国際空港	熊本空港	巡航中、一時的に操縦性の低下があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
4/18	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8324	松山空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/18	日本航空	ボーイング式787-8型	JA825J	ホーチミン	成田国際空港	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	
4/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NQ	東京国際空港	那覇空港	巡航中、対地接近警報装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
4/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NT	新千歳空港	神戸空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
4/20	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA98AD	新千歳空港	東京国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/21	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA805X	那覇空港	石垣空港	機長に通知せず、危険物を輸送した。	
4/21	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA8359	東京国際空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/21	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA03GR	成田国際空港	高松空港	エンジン始動時、抽出空気漏洩感知システムの不具合を示すライトが点灯した。	
4/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R			定時整備中、化粧室内のプラカードに誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
4/22	日本航空	ボーイング式737-800型	JA329J	東京国際空港	青森空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/22	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8994			装備品整備中、客室内の水消火器に不具合を発見した。	
4/23	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA805X	羽田空港	宮崎空港	降下中、管制指示高度を逸脱した。	
4/23	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	成田国際空港	アムステルダム	着陸後、第4エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/23	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA733J	東京国際空港	サンフランシスコ	巡航中、乗客用座席のテーブルが外れた。	
4/23	朝日航洋	エアロバス式AS355N型	JA6738			テールブーム後部右側に亀裂を発見した。	
4/23	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA03RJ	仙台空港	大阪国際空港	整備作業後の確認に不備があった。	
4/24	琉球エアークommuter	ボンバルディア式DHC-8-314型	JA8936	与論空港	那覇空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/24	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	ミラノ	成田国際空港	着陸後、第4エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/24	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA02JJ	熊本空港	成田国際空港	離陸滑走中、後方貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があったため、離陸を中止した。	
4/24	琉球エアークommuter	デ・ハビランド式DHC-8-103型	JA8972	石垣空港	宮古空港	進入中、脚下げ操作を実施したが、前脚が確実に下りていることを示すライトが点灯しなかった。	イレギュラー運航
4/25	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	成田国際空港	アンカレッジ	着陸後、第4エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/25	琉球エアークommuter	ボンバルディア式DHC-8-314型	JA8936	久米島空港	那覇空港	離陸前、第1エンジンの出力が低下した。	
4/26	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA806P	松山空港	関西国際空港	定時整備中、航空機用救命無線機が不作為であることを発見した。	
4/27	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA04VA	新千歳空港	成田国際空港	運用許容基準の適用に不備があった。	
4/27	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA8967	大阪国際空港	東京国際空港	進入中、鳥衝突により第1エンジンのファン出口ガイドベーンが損傷した。	
4/28	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	成田国際空港	アンカレッジ	着陸後、第4エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/28	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA202J	大阪国際空港	秋田空港	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/28	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8993	那覇空港	福岡空港	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
4/28	日本航空	ボーイング式767-300型	JA613J	中部国際空港	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
4/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	大分空港	中部国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/30	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ	小松飛行場	福岡空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/30	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	アムステルダム	ミラノ	着陸後、第4エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/30	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NK	新千歳空港	東京国際空港	自社事例の水平展開の結果、客室内の非常口表示パネルの一部に表記不足のものが判明した。	
5/2	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA01GR	佐賀空港	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/2	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ	広島空港	仙台空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
5/2	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA735J	成田国際空港	ニューヨーク	巡航中、左右燃料タンクの燃料量の差異が拡大し、運用限界を超過した。	
5/2	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA05VA	新千歳空港	成田国際空港	運用許容基準の適用に不備があった。	
5/2	全日本空輸	エアバス式A320-211型	JA8997	東京国際空港	佐賀空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
5/4	ピーチ・アビエーション	エアバスA320-214型	JA809P	関西国際空港	ソウル(仁川)	降下中、管制指示高度を逸脱した。	
5/5	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA755A	東京国際空港	那覇空港	降下中、操縦室内で異臭がしたため、運航乗務員が酸素マスクを使用した。	
5/6	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8579	東京国際空港	稚内空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
5/6	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA843C			定時整備中、左主翼の下面に腐食を発見した。	
5/6	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8938	那覇空港	福岡空港	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
5/7	バニラ・エア	エアバスA320-216型	JA02VA	成田国際空港	台北(桃園)	危険物を誤輸送した。	
5/8	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-103型	JA8935	那覇空港	下地島空港	離陸後、管制指示高度を逸脱した。	
5/8	ピーチ・アビエーション	エアバスA320-214型	JA803P	那覇空港	関西国際空港	定時整備中、航空機用救命無線機が不動作であることを発見した。	
5/8	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA736A	ニューヨーク	成田国際空港	到着後、危険物が漏洩していることを発見した。	
5/8	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8578	東京国際空港	鹿児島空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
5/9	日本航空	ボーイング式787-8型	JA829J	成田国際空港	サンディエゴ	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/9	日本エアコミューター	サブ式SAAB340B型	JA8900	鹿児島空港	奄美空港	巡航中、第2エンジンの前段部の圧縮機が氷を吸引し損傷した。	
5/9	ジェイエア	エアバスERJ170-100STD型	JA218J	仙台空港	福岡空港	上昇中、電波高度計の不具合により、対地接近警報装置が誤作動した。	
5/10	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA304K	仙台空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/11	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA803X	鹿児島空港	東京国際空港	巡航中、一時的に操縦性の低下があった。	
5/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NY	長崎空港	神戸空港	運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。	
5/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	仙台空港	神戸空港	運航整備中、右主翼の高揚力装置(フラップ)の後縁部に剥離を発見した。	
5/12	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA31CA	三宅島空港	調布飛行場	巡航中、第2エンジンのトルク計の指示が不安定となった。	
5/12	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA32CA	新島空港	調布飛行場	機内の確認中、乗客用座席のカバーに誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
5/12	天草エアライン	デ・ハビランド式DHC-8-103型	JA81AM	天草飛行場	福岡空港	上昇中、対地接近警報装置が誤作動したため、引き返した。	イレギュラー運航
5/17	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	ニューヨーク	アンカレッジ	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
5/17	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA05JJ	成田国際空港	福岡空港	不具合の修理持ち越し処置に不備があった。	
5/18	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA619A	瀋陽(中国)	成田国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/18	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA8419	大阪国際空港	福岡空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
5/19	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA54AN	新千歳空港	静岡空港	運航整備中、航空機部品の脱落を発見した。	
5/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	新千歳空港	東京国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
5/19	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA601A	東京国際空港	新千歳空港	到着後の点検中、異なる機種で安全のしおりが一部の乗客用座席に搭載されていることを発見した。	
5/19	日本航空	ボーイング式777-200型	JA708J	シンガポール	東京国際空港	降下中、管制指示経路から逸脱した。	
5/19	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA622A	デリー(インド)	成田国際空港	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
5/20	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA820A	東京国際空港	パリ	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/20	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA74AN	鹿児島空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/20	全日本空輸	エアバスA320-211型	JA8394	庄内空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/20	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA736A	成田国際空港	シンガポール	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/20	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA20MC	マニラ	北九州空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/21	全日本空輸	エアバスA320-211型	JA8304	東京国際空港	鳥取空港	離陸後、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
5/21	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA13JJ	成田国際空港	大分空港	巡航中、航空機衝突防止装置の一部機能が不動作となった。	
5/22	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA20MC	福岡空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/22	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA803X	大分空港	東京国際空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、脚が正常に格納されていないことを示すライトが点灯したままとなった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
5/23	日本航空	ボーイング式787-8型	JA833J	関西国際空港	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NX	神戸空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/23	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8988	東京国際空港	那覇空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、前脚が正常に格納されていないことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
5/23	日本航空	ボーイング式767-300型	JA601J	上海(浦東)	成田国際空港	運航整備中、航空機部品の脱落を発見した。	
5/23	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA220J	大阪国際空港	花巻空港	離陸後、客室高度が上昇したため、引き返した。	イレギュラー運航
5/23	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA222J	大阪国際空港	山形空港	上昇中、前方乗降用扉が確実に閉じられていないことを示すライトが点灯したため、引き返した。	イレギュラー運航
5/24	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	ニューヨーク	成田国際空港	到着後、危険物の搭載方法に不備があったことが判明した。	
5/24	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA306K	福岡空港	仙台空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/25	日本航空	ボーイング式787-8型	JA825J	バンクーバー	成田国際空港	降下中、管制指示高度を逸脱した。	
5/25	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA356K			定時整備中、胴体前方左側の切り欠き部に亀裂を発見した。	
5/25	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	サンフランシスコ	成田国際空港	上昇中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
5/26	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA741J	ニューヨーク	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/26	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA828A	成田国際空港	サンノゼ	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/26	日本航空	ボーイング式787-8型	JA834J	成田国際空港	サンディエゴ	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/26	日本航空	ボーイング式767-300型	JA610J	成田国際空港	中部国際空港	機長に通知せず、危険物を輸送した。	
5/26	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	対馬空港	長崎空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示すライトが点灯した。	
5/27	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8996	小松飛行場	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/28	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA801X	仙台空港	東京国際空港	耐空証明検査中、一部の化粧室の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
5/28	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	成田国際空港	ロサンゼルス	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
5/28	日本航空	ボーイング式737-800型	JA336J	広島空港	東京国際空港	離陸時、鳥と衝突し、第2エンジンの振動値が高い計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
5/28	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA801B	仙台空港	長崎空港	整備作業中、方向舵の制御装置の電気配線が未接続であることを発見した。	
5/28	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	アムステルダム	成田国際空港	危険物が誤輸送された。	
5/29	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA54AN	東京国際空港	宮崎空港	離陸滑走中、前方乗降用扉が確実に閉じられていないことを示すライトが点灯したため、離陸を中止した。	
5/29	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA11JJ	福岡空港	成田国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
5/29	日本航空	ボーイング式767-300型	JA615J	東京国際空港	大分空港	運航整備中、燃料タンクの燃料油量計の表示に不具合が生じた。	
5/29	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	アムステルダム	成田国際空港	到着後、危険物が漏洩していることを発見した。	
5/29	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA802X	東京国際空港	大分空港	出発前、客室乗務員用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
5/29	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8364			装備品整備中、操縦室の座席の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることを発見した。	
5/29	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA01GR	成田国際空港	佐賀空港	降下中、対地接近警報装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
5/31	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA803X			定時整備中、エンジン用の消火ボルトの圧力計の指示が低下していたことを発見した。	
6/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737P	新千歳空港	東京国際空港	巡航中、対地接近警報装置が不作為であることを示すライトが点灯した。	
6/1	日本航空	ボーイング式737-800型	JA307J	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/2	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA06VA	成田国際空港	新千歳空港	離陸後、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/2	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA8596	仙台空港	成田国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/2	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA741A	東京国際空港	函館空港	降下中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
6/2	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8938			整備作業後の確認の結果、整備作業の処置に不備があることが判明した。	
6/3	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA80AN	那覇空港	新千歳空港	離陸滑走中、前方を回転翼航空機が横切ったため離陸を中止した。	重大インシデント
6/3	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8938	石垣空港	那覇空港	離陸を中止した航空機が滑走路を離脱する前に着陸した。	重大インシデント

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/3	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ			整備作業中、第4エンジンの取り付け部の一部の部品に誤った部品番号のものが使用されていることを発見した。	
6/4	日本航空	ボーイング式767-300型	JA618J	ホノルル	成田国際空港	降下中、管制指示高度を逸脱した。	
6/4	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NK	東京国際空港	福岡空港	巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
6/4	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8357			整備作業中、右主翼下面の外板に腐食を発見した。	
6/4	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA08MC			整備委託先で実施した整備作業の記録を確認した結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/4	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA09MC			整備委託先で実施した整備作業の記録を確認した結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/4	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA20MC			整備委託先で実施した整備作業の記録を確認した結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/5	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA606A	新石垣空港	東京国際空港	上昇中、操縦室内で異臭がしたため、運航乗務員が酸素マスクを使用し、航空交通管制上の優先権を要請のうえ、目的地を変更した。	イレギュラー運航
6/5	エア・ドゥ	ボーイング式737-700型	JA11AN	東京国際空港	釧路空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
6/5	全日本空輸	エアバス式A320-211型	JA8313			他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/5	全日本空輸	エアバス式A320-211型	JA8396			他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/5	全日本空輸	エアバス式A320-211型	JA8946			他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/5	全日本空輸	エアバス式A320-211型	JA8947			他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/5	全日本空輸	エアバス式A320-211型	JA8997			他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/5	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA801P			他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/5	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA802P			他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/5	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA803P			他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/5	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA808P			他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/5	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA809P			他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/5	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA810P			他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/6	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA780A	シアトル	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/6	バニラ・エア	エアバス式A320-216型	JA03VA			定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
6/6	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA836A	ミュンヘン	成田国際空港	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
6/6	バニラ・エア	エアバス式A320-216型	JA01VA			整備作業の確認の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/6	バニラ・エア	エアバス式A320-216型	JA02VA			整備作業の確認の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/7	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA812X	那覇空港	鹿児島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
6/7	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8998			定時整備中、左右の主翼の構造部に亀裂を発見した。	
6/8	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA787A			定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
6/8	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA09JJ			他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/8	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA10JJ			他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/8	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA11JJ			他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/8	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA15JJ			他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/8	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA13JJ			他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/8	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA12JJ			他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/8	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA14JJ			他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/8	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA16JJ			他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/8	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA17JJ			他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	
6/8	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA18JJ			他社事例の水平展開の結果、パイロンのパネルの点検内容に不備があったことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/9	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	小松飛行場	仙台空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
6/10	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA04VA	台北(桃園)	成田国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/11	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA01HD	旭川空港	東京国際空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
6/11	日本航空	ボーイング式767-300型	JA610J	台北(桃園)	成田国際空港	機長に通知せず、危険物を輸送した。	
6/12	日本航空	ボーイング式787-8型	JA829J	関西国際空港	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/12	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA812P	福岡空港	関西国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/12	日本エアコミューター	サーブ式SAAB340B型	JA8649	徳島飛行場	福岡空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/12	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA851A	熊本空港	中部国際空港	上昇中、客室高度が高いことを示すライトが点灯したため、引き返した。	イレギュラー運航
6/12	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	ニューヨーク	成田国際空港	危険物が誤輸送された。	
6/13	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA803X	東京国際空港	熊本空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、脚が正常に格納されていないことを示すライトが点灯したままとなったため、引き返した。	イレギュラー運航
6/13	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ	新千歳空港	成田国際空港	降下中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
6/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	福岡空港	那覇空港	離陸前、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
6/14	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA810X	那覇空港	中部国際空港	危険物が誤輸送された。	
6/14	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA713A	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NL	新千歳空港	福岡空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
6/15	日本航空	ボーイング式777-300型	JA751J	新千歳空港	東京国際空港	運航整備中、第2エンジンのファンケース内部のパネルに損傷を発見した。	
6/15	エア・ドゥ	ボーイング式737-700型	JA15AN	神戸空港	新千歳空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
6/15	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	シカゴ	成田国際空港	危険物が誤輸送された。	
6/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	東京国際空港	福岡空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
6/18	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA804P	関西国際空港	新石垣空港	巡航中、管制指示高度を逸脱した。	
6/18	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA814P	関西国際空港	那覇空港	巡航中、管制指示高度を逸脱した。	
6/18	日本航空	ボーイング式737-800型	JA317J	台北(桃園)	中部国際空港	巡航中、左右燃料タンクの燃料量の差異が拡大し、運用限界を超過した。	
6/18	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA12JJ	成田国際空港	福岡空港	進入中、対地接近警報装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
6/18	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA12JJ	福岡空港	成田国際空港	出発時、対地接近警報装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
6/18	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA12JJ	成田国際空港	新千歳空港	地上走行中、対地接近警報装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
6/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	東京国際空港	那覇空港	巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	
6/19	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA04VA	成田国際空港	新千歳空港	整備作業後の確認に不備があった。	
6/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	那覇空港	東京国際空港	巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	
6/19	エア・ドゥ	ボーイング式737-700型	JA08AN	帯広空港	東京国際空港	降下中、操作することが許容される位置を超えて、スピードブレーキレバーを操作した。	
6/19	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8976	鹿児島空港	東京国際空港	上昇中、左右の速度表示に差異があったため、目的地を変更した。	イレギュラー運航
6/19	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8399			自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。	
6/19	日本航空	ボーイング式767-300型	JA601J			自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。	
6/19	日本航空	ボーイング式767-300型	JA603J			自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。	
6/19	日本航空	ボーイング式767-300型	JA604J			自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。	
6/19	日本航空	ボーイング式767-300型	JA605J			自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。	
6/19	日本航空	ボーイング式767-300型	JA606J			自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。	
6/19	日本航空	ボーイング式767-300型	JA607J			自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。	
6/19	日本航空	ボーイング式767-300型	JA608J			自社事例の水平展開の結果、失速警報の点検項目に不備があることが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
6/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA852A	熊本空港	大阪国際空港	巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	
6/23	日本航空	ボーイング式787-8型	JA834J	ロサンゼルス	関西国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NR	新千歳空港	東京国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
6/23	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA08VA	台北(桃園)	成田国際空港	巡航中、管制指示高度を逸脱した。	
6/24	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA356K	成田国際空港	仙台空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/24	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8399	東京国際空港	旭川空港	降下中、客室高度が上昇したことを示す計器表示があったため、航空交通管制上の優先権を要請し降下した。	イレギュラー運航
6/24	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA204J			整備の実施状況の確認の結果、左右主翼の構造部の点検期限が超過したことが判明した。	
6/24	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA205J			整備の実施状況の確認の結果、左右主翼の構造部の点検期限が超過したことが判明した。	
6/24	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA206J			整備の実施状況の確認の結果、左右主翼の構造部の点検期限が超過したことが判明した。	
6/24	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA207J			整備の実施状況の確認の結果、左右主翼の構造部の点検期限が超過したことが判明した。	
6/24	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA208J			整備の実施状況の確認の結果、左右主翼の構造部の点検期限が超過したことが判明した。	
6/24	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA209J			整備の実施状況の確認の結果、左右主翼の構造部の点検期限が超過したことが判明した。	
6/25	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8991	新石垣空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/25	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA705A	新千歳空港	東京国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
6/26	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA755A	東京国際空港	新千歳空港	降下中、第1エンジンから異音及び振動が発生し、排気ガス温度が上昇したため、当該エンジンを停止し航空交通管制上の優先権を要請のうえ、着陸した。	イレギュラー運航
6/26	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA801P	関西国際空港	那覇空港	降下中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
6/26	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA218J	鹿児島空港	大阪国際空港	上昇中、左右燃料タンクの燃料量の差異が拡大し、運用限界を超過した。	
6/27	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA33CA	調布飛行場	三宅島空港	巡航中、第2エンジンのトルク計の指示が不安定となったため引き返した。	イレギュラー運航
6/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	東京国際空港	東京国際空港	耐空証明検査飛行中、運用限界を超える速度で脚上げ操作した。	
6/28	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8323			定時整備中、左主脚格納室内の構造部に亀裂を発見した。	
6/28	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8323			定時整備中、右主脚格納室内の構造部に亀裂を発見した。	
6/28	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8323			定時整備中、右側前方のサービス扉の構造部に亀裂を発見した。	
6/29	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA01FJ	熊本空港	名古屋飛行場	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/29	バニラ・エア	エアバス式A320-216型	JA01VA			装備品整備中、航空機用救命無線機の送信出力が基準値以下であった。	
6/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA04RJ	福島空港	大阪国際空港	整備作業後の確認に不備があった。	
6/30	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8525	那覇空港	関西国際空港	巡航中、抽気系統に不具合が発生し、客室高度が上昇したため、航空交通管制上の優先権を要請し、降下した。	重大インシデント
6/30	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8525	那覇空港	関西国際空港	降下中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しなかった。	
6/30	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	東京国際空港	新千歳空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
6/30	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA703A	新千歳空港	東京国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
6/30	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA717A	東京国際空港	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/30	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8975	小松飛行場	東京国際空港	社内調査の結果、高揚力装置(スラット)の点検期限が超過したことが判明した。	
6/30	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8399	東京国際空港	熊本空港	社内調査の結果、高揚力装置(スラット)の点検期限が超過したことが判明した。	
6/30	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8299			社内調査の結果、高揚力装置(スラット)の点検期限が超過したことが判明した。	
6/30	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8269			社内調査の結果、高揚力装置(スラット)の点検期限が超過したことが判明した。	
6/30	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA31CA			社内調査の結果、運航乗務員の訓練内容に不備があったことが判明した。	
7/1	日本航空	ボーイング式777-200型	JA009D	東京国際空港	新千歳空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/1	日本航空	ボーイング式777-200型	JA708J	シドニー	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
7/1	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA830A	鹿児島空港	東京国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
7/1	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA703A	福岡空港	東京国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/1	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8323			定時整備中、右水平安定板の外板に腐食を発見した。	
7/1	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8323			定時整備中、右水平安定板の外板に腐食を発見した。	
7/1	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8323			定時整備中、右水平安定板の外板に腐食を発見した。	
7/1	日本航空	ボーイング式767-300型	JA612J	ソウル(仁川)	成田国際空港	降下中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
7/1	全日本空輸	ボーイング式737-500型	JA305K			定時整備中、左主翼の構造部に亀裂を発見した。	
7/1	全日本空輸	ボーイング式737-500型	JA305K			定時整備中、右主翼の構造部に亀裂を発見した。	
7/1	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA08JJ	成田国際空港	福岡空港	進入中、対地接近警報装置が誤作動した。	
7/2	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA701A	東京国際空港	新千歳空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/2	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA703A	東京国際空港	大阪国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/2	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA703A	大阪国際空港	東京国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/2	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA740J	成田国際空港	フランクフルト	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
7/2	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-314型	JA8936	那覇空港	久米島空港	離陸前、第1及び第2エンジンの出力が上昇しなかった。	
7/3	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8356	中部国際空港	那覇空港	機長に通知せず、危険物を輸送した。	
7/4	日本航空	ボーイング式777-200型	JA706J	バンコク	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/6	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA809X	東京国際空港	宮崎空港	進入中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	
7/6	日本航空	ボーイング式767-300型	JA658J	徳島飛行場	東京国際空港	離陸時、鳥と衝突し、第2エンジンの振動値が高い計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
7/6	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-314型	JA8936	与論空港	那覇空港	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	
7/7	日本エアコミューター	サーフ式SAAB340B型	JA001C	徳島飛行場	福岡空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/7	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA828A			定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクから酸素が正常に供給されない不具合を発見した。	
7/7	日本航空	ボーイング式787-8型	JA830J	ボストン	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/7	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA06FJ	新千歳空港	松本空港	巡航中、抽気系統に不具合が発生し、客室高度が上昇したため、航空交通管制上の優先権を要請し、目的地を変更した。	重大インシデント
7/8	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NU	神戸空港	那覇空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/8	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA02GR	成田国際空港	佐賀空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/9	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA703A	那覇空港	東京国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/10	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA778A	成田国際空港	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/10	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA8404	長崎空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/10	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA703A	大阪国際空港	東京国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/10	日本航空	ボーイング式777-300型	JA752J	大阪国際空港	那覇空港	進入復行中、管制指示高度を逸脱した。	
7/11	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA703A	東京国際空港	福岡空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/11	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA703A	福岡空港	東京国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/11	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA01HD	新千歳空港	東京国際空港	出発時、乗客用座席からシートベルトが外れた。	
7/11	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8324	東京国際空港	稚内空港	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/11	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	サンフランシスコ	成田国際空港	危険物が誤輸送された。	
7/12	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8674	美保飛行場	東京国際空港	運航整備中、第1エンジンのファンブレードに鳥衝突による損傷を発見した。	
7/12	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8525	那覇空港	関西国際空港	出発前の点検中、方向舵の一部に損傷を発見した。	
7/12	日本航空	ボーイング式767-300型	JA659J	鹿児島空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/12	日本航空	ボーイング式767-300型	JA606J	シンガポール	東京国際空港	誘導路から離陸のための滑走を開始した。	重大インシデント

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
7/13	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ	東京国際空港	新千歳空港	上昇中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	
7/13	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ			定時整備中、高揚力装置(フラップ)が非常用作動しなかった。	
7/13	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA09FJ	熊本空港	名古屋飛行場	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/14	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ			定時整備中、右胴体脚の非常脚下げ装置の不具合を発見した	
7/15	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	シカゴ	フランクフルト	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/15	日本航空	ボーイング式777-200型	JA711J	ホノルル	成田国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/15	日本航空	ボーイング式737-800型	JA304J	関西国際空港	上海(浦東)	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/15	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA737J	東京国際空港	サンフランシスコ	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/15	日本航空	ボーイング式737-800型	JA309J	大分空港	東京国際空港	中央燃料タンクの残量の運用限界を超過した。	
7/16	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA757A	那覇空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/16	日本航空	ボーイング式777-300型	JA8944	東京国際空港	那覇空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/16	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8395	東京国際空港	岩国飛行場	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/16	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA461A	松山空港	中部国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
7/17	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8992	那覇空港	中部国際空港	離陸時、機体尾部を滑走路に接触させた。	
7/19	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA09FJ	名古屋飛行場	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/20	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA79AN	東京国際空港	庄内空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/20	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA781A	成田国際空港	サンフランシスコ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/20	エア・ドゥ	ボーイング式737-700型	JA15AN	新千歳空港	東京国際空港	危険物を誤輸送した。	
7/20	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8324	那覇空港	高松空港	上昇中、管制指示高度を逸脱した。	
7/20	日本航空	ボーイング式737-800型	JA338J	東京国際空港	関西国際空港	機長に通知せず、危険物を輸送した。	
7/21	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA216J	鹿児島空港	大阪国際空港	巡航中、左右燃料タンクの燃料量の差異が拡大し、運用限界を超過した。	
7/21	朝日航洋	ユーロコプター式AS350B3型	JA6509			認定事業場検査の確認の結果、外部ミラーの取付け部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
7/21	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA98AD	新千歳空港	東京国際空港	降下中、管制指示経路から逸脱した。	
7/22	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8946	大分空港	東京国際空港	離陸滑走中、鳥衝突により第1エンジンのファンブレード等が損傷した。	
7/23	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA811P	仙台空港	関西国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/24	日本航空	ボーイング式767-300型	JA651J	大分空港	東京国際空港	運航整備中、第1エンジンのファンブレードに損傷を発見した。	
7/25	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA731J	シカゴ	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/25	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8674	東京国際空港	那覇空港	離陸後、鳥衝突により第2エンジンのファンブレード等が損傷した。	
7/25	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA217J	大阪国際空港	長崎空港	離陸後、エンジンの抽気系統の不具合を示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
7/26	ANAウイングス	ボーイング式737-700型	JA04AN	新千歳空港	関西国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
7/27	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA807X	宮崎空港	東京国際空港	巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	
7/27	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA825A	松山空港	東京国際空港	機長に通知せず、危険物を輸送した。	
7/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NF	東京国際空港	鹿児島空港	上昇中、左右燃料タンクの燃料量の差異が拡大し、運用限界を超過した。	
7/28	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8364	旭川空港	東京国際空港	第1エンジン始動時、排気ガス温度の運用限界を超過した。	
7/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ	広島空港	仙台空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	東京国際空港	那覇空港	離陸中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
7/29	日本航空	ボーイング式777-200型	JA705J			装備品整備中、非常脱出用スライドの不具合を発見した。	
7/29	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA736J	成田国際空港	大阪国際空港	自社事例の水平展開の結果、非常脱出用スライドの不具合が判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
7/29	ピーチ・アビエーション	エアバスA320-214型	JA804P			整備委託先で実施した整備作業の記録を確認した結果、整備作業後の確認に不備があったことが判明した。	
7/30	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA10JJ	福岡空港	中部国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/30	新中央航空	ルアグ式Dornier228-212型	JA35CA	大島空港	調布飛行場	進入中、スタビライザートリムが正常に作動しなかった。	
7/31	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA462A	松山空港	大阪国際空港	離陸後、客室高度が上昇した。	
7/31	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA04KZ	ロサンゼルス	成田国際空港	到着後、危険物が漏洩していることを発見した。	
7/31	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA809A	広島空港	東京国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
8/1	エア・ドゥ	ボーイング式737-700型	JA07AN	新千歳空港	神戸空港	出発準備中、異なる機種での安全のしおりが一部の乗客用座席に搭載されていることを発見した。	
8/1	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA601A	東京国際空港	女満別空港	自社事例の水平展開の結果、異なる機種での安全のしおりが一部の乗客用座席に搭載されていることが判明した。	
8/1	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA614A	香港	関西国際空港	上昇中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
8/2	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NY	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/3	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ	福岡空港	宮崎空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/3	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8980	東京国際空港	函館空港	出発前、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
8/4	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ	名古屋飛行場	中標津空港	出発前の点検中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
8/4	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA755A	東京国際空港	那覇空港	離陸滑走中、第1エンジンの抽気系統が不動作であることを示す計器表示があったため、離陸を中止した。	
8/4	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	長崎空港	対馬空港	出発前の点検中、第1エンジンのプロペラ制御系統の不具合を発見した。	
8/4	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA206J	宮崎空港	福岡空港	進入中、航法システムの精度が低下した。	
8/5	日本航空	ボーイング式737-800型	JA318J	大分空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/6	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA08MC	北九州空港	東京国際空港	到着後、運航に必要な規定が搭載されていないことが判明した。	
8/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NR	福岡空港	百里飛行場	運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。	
8/6	朝日航洋	川崎式BK117C-2型	JA6933			定時整備中、テールロータードライブシャフトのベアリング取り付け部に誤った部品番号のものが使用されていることを発見した。	
8/6	エア・ドゥ	ボーイング式737-700型	JA07AN	仙台空港	新千歳空港	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
8/7	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8368	大阪国際空港	那覇空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
8/7	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8997	岩国飛行場	東京国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
8/7	日本航空	ボーイング式767-300型	JA619J	成田国際空港	クアラルンプール	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA329J	東京国際空港	鹿児島空港	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
8/8	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA214J	大阪国際空港	大分空港	降下中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
8/8	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	那覇空港	神戸空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
8/8	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA852A	新千歳空港	仙台空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
8/9	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	上海(浦東)	成田国際空港	運航整備中、後方貨物室の火災を示す計器表示があったため、消火装置を作動させた。	
8/9	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8976	東京国際空港	函館空港	進入中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
8/10	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA735A	東京国際空港	フランクフルト	離陸滑走中、第2エンジンの排気ガス温度が運用限界を超過したため、離陸を中止した。	
8/10	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA852A	中部国際空港	秋田空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
8/10	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA852A	秋田空港	中部国際空港	地上走行中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
8/10	日本航空	ボーイング式767-300型	JA659J	女満別空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/10	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA847C	与論空港	鹿児島空港	上昇中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
8/10	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA783A	ロサンゼルス	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
8/11	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA51AN	東京国際空港	岡山空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
8/11	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA22MC	山口宇部空港	東京国際空港	整備従事者が必要な定期訓練を受講せず整備の確認をしたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
8/11	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA21MC	マニラ	北九州空港	整備従事者が必要な定期訓練を受講せず整備の確認をしたことが判明した。	
8/11	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ	仙台空港	福岡空港	離陸後、第1エンジンの抽気系統の不具合を示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
8/11	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA01GR	広島空港	成田国際空港	巡航中、ウインドシアア警報が不動作であることを示す計器表示があった。	
8/12	日本航空	ボーイング式777-200型	JA010D	那覇空港	東京国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
8/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T	仙台空港	神戸空港	運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。	
8/12	日本エアコミューター	サブ式SAAB340B型	JA8649	鹿児島空港	松山空港	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
8/13	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA03RJ	新潟空港	大阪国際空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
8/13	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA10JJ	成田国際空港	新千歳空港	上昇中、乗降用扉の非常脱出スライドのレバーが脱出位置でないことを発見した。	
8/13	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA601A	旭川空港	東京国際空港	降下中、管制指示高度を逸脱した。	
8/13	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA22MC			整備品整備中、航空機用救命無線機の送信出力が基準値以下であった。	
8/13	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA620A	香港	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
8/15	日本航空	ボーイング式767-300型	JA655J	東京国際空港	那覇空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
8/16	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA20MC	北九州空港	東京国際空港	離陸前、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
8/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	中部国際空港	那覇空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
8/17	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA812X	東京国際空港	大分空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/17	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA8500			定時整備中、垂直安定板の構造部に腐食を発見した。	
8/17	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA8500			定時整備中、右側水平尾翼の構造部に腐食を発見した。	
8/18	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA04KZ			整備作業後の確認の結果、燃料タンクパネルのガスケットに誤った部品番号のものが取り付けられていることが判明した。	
8/18	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA06KZ			社内確認の結果、燃料タンクパネルの整備作業期限を超過していることが判明した。	
8/18	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA07KZ			社内確認の結果、燃料タンクパネルの整備作業期限を超過していることが判明した。	
8/18	ピーチ・アビエーション	エアバスA320-214型	JA808P			整備品整備中、航空機用救命無線機の送信出力が基準値以下であった。	
8/18	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA301K	福岡空港	対馬空港	機長に通知せず、危険物を輸送した。	
8/18	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	成田国際空港	香港	出発準備中、貨物室内の階段の手すりが外れた。	
8/18	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ			自社事例の水平展開の結果、貨物室内の階段の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
8/18	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ			自社事例の水平展開の結果、貨物室内の階段の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
8/18	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ			自社事例の水平展開の結果、貨物室内の階段の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
8/18	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ			自社事例の水平展開の結果、貨物室内の階段の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
8/18	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ			自社事例の水平展開の結果、貨物室内の階段の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
8/18	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ			自社事例の水平展開の結果、貨物室内の階段の構成部品に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
8/19	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA20MC			整備品整備中、航空機用救命無線機の送信出力が基準値以下であった。	
8/19	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA06JJ	那覇空港	成田国際空港	離陸滑走中、飛行管理システムに不具合が生じた。	
8/19	セントラルヘリコプターサービス	川崎式BK117C-2型	JA6934			他社事例の水平展開の結果、テールロータードライブシャフトのベアリング取り付け部に誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
8/20	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA07FJ	鹿児島空港	静岡空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NQ	東京国際空港	福岡空港	上昇中、左右燃料タンクの燃料量の差異が拡大し、運用限界を超過した。	
8/22	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA607A	香港	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
8/23	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA820A	成田国際空港	デュッセルドルフ	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/24	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA09FJ	花巻空港	名古屋飛行場	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/24	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	東京国際空港	新千歳空港	運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
8/24	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA02GR	成田国際空港	広島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
8/25	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA01HD	函館空港	東京国際空港	到着後、異なる機種での安全のしおりが一部の乗客用座席に搭載されていることを発見した。	
8/25	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	仙台空港	大阪国際空港	地上走行中、整備用工具が乗客用座席上にあるのを発見した。	
8/25	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA06AN	香港	中部国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
8/25	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA809A	東京国際空港	広島空港	進入復行中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
8/26	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA06FJ	名古屋飛行場	花巻空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/26	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA705A	大阪国際空港	東京国際空港	離陸後、第1エンジンから異音及び振動が発生し、排気ガス温度が上昇したため、当該エンジンを停止し航空交通管制上の優先権を要請のうえ、引き返した。	イレギュラー運航
8/26	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA201J	青森空港	新千歳空港	運用許容基準の適用に不備があった。	
8/28	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA816A			定時点検中、後方左側の乗降用扉の非常脱出用スライドが正常に作動しなかった。	
8/28	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA751A	新千歳空港	東京国際空港	巡航中、操縦室内で一時的に異臭がしたため、運航乗務員が酸素マスクを使用した。	
8/28	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA833A	東京国際空港	福岡空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
8/28	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA833A	福岡空港	東京国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
8/28	第一航空	バイキング式DHC-6-400型	JA201D	那覇空港	粟国空港	着陸後、滑走路を逸脱し同滑走路脇のフェンスを超えて停止した。	航空事故
8/28	第一航空	バイキング式DHC-6-400型	JA201D	那覇空港	粟国空港	搭載用航空日誌を誤搭載していたことが判明した。	
8/28	第一航空	バイキング式DHC-6-400型	JA201D	那覇空港	粟国空港	運航乗務員が、航空身体検査証明の条件を満足せず乗務を行ったことが判明した。	
8/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA02RJ			社内調査の結果、客室内の酸素ボトルとマスクが未接続であることが判明した。	
8/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA03RJ			社内調査の結果、客室内の酸素ボトルとマスクが未接続であることが判明した。	
8/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA04RJ			社内調査の結果、客室内の酸素ボトルとマスクが未接続であることが判明した。	
8/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ			社内調査の結果、客室内の酸素ボトルとマスクが未接続であることが判明した。	
8/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ			社内調査の結果、客室内の酸素ボトルとマスクが未接続であることが判明した。	
8/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ			社内調査の結果、客室内の酸素ボトルとマスクが未接続であることが判明した。	
8/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ			社内調査の結果、客室内の酸素ボトルとマスクが未接続であることが判明した。	
8/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ			社内調査の結果、客室内の酸素ボトルとマスクが未接続であることが判明した。	
8/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA10RJ			社内調査の結果、客室内の酸素ボトルとマスクが未接続であることが判明した。	
8/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA11RJ			社内調査の結果、客室内の酸素ボトルとマスクが未接続であることが判明した。	
8/30	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	長崎空港	香崎空港	離陸後、機体が飛行中か地上走行中かを検知するセンサーの不具合が発生したことを示すライトが点灯したため、引き返した。	イレギュラー運航
8/30	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA777A	ヒューストン	成田国際空港	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
8/30	エアージャパン	ボーイング式767-300F型	JA602F	成田国際空港	那覇空港	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
8/31	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8364	那覇空港	大阪国際空港	第1エンジン始動時、排気ガス温度の運用限界を超過した。	
8/31	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ	東京国際空港	鹿児島空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不作用であることを示す計器表示があった。	
8/31	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	仙台空港	中部国際空港	上昇中、後方貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があった。	
8/31	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8939			耐空性改善通報が求める修理方法と異なる修理が行われた状態で運航したことが判明した。	
8/31	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA205J	新千歳空港	女満別空港	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
9/1	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8997	東京国際空港	能登空港	進入復行中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
9/2	日本航空	ボーイング式737-800型	JA327J	東京国際空港	松山空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/2	日本航空	ボーイング式737-800型	JA302J	高松空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/2	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA743A	大阪国際空港	東京国際空港	着陸時、客室の調理室内のゴミ箱が飛び出した。	
9/2	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA203J	新千歳空港	青森空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
9/2	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA04JJ	新千歳空港	中部国際空港	上昇中、誤って乗降用扉の非常脱出スライドのレバーを脱出位置から変更した。	
9/2	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA8197	東京国際空港	那覇空港	整備作業中、乗客用座席のカバーに誤った部品番号のものが使用されていることを発見した。	
9/4	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	福岡空港	東京国際空港	運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。	
9/4	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA608A	広州	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
9/5	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA751A	東京国際空港	新千歳空港	運航に必要な情報が運航乗務員に提供されていなかった。	
9/5	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	シカゴ	ダラス	危険物が誤輸送された。	
9/6	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA808X	鹿児島空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/6	ピーチ・アビエーション	エアバスA320-214型	JA807P	関西国際空港	新千歳空港	降下中、対地接近警報装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
9/6	日本航空	ボーイング式767-300型	JA615J	グアム	グアム	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/6	ピーチ・アビエーション	エアバスA320-214型	JA807P	福岡空港	那覇空港	進入中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
9/6	日本トランスオシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8993	中部国際空港	那覇空港	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
9/7	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	東京国際空港	那覇空港	巡航中、対地接近警報装置が不作為であることを示すライトが点灯した。	
9/7	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA741J	成田国際空港	ロサンゼルス	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/8	日本航空	ボーイング式767-300型	JA658J	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/8	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA742J			定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
9/9	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA850A	長崎空港	長崎空港	離陸滑走中、第2エンジンの出力が上昇しなかったため、離陸を中止した。	
9/9	エア・ドゥ	ボーイング式737-700型	JA07AN	帯広空港	東京国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
9/9	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	新千歳空港	中部国際空港	運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。	
9/9	日本トランスオシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8993	宮古空港	東京国際空港	巡航中、中央燃料タンクの燃料油量計の表示に不具合が生じた。	
9/9	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA734A			自社事例の水平展開の結果、乗客用座席のカバーに誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
9/9	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA03GR	成田国際空港	広島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
9/10	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA461A	中部国際空港	熊本空港	上昇中、客室高度が上昇したため、引き返した。	イレギュラー運航
9/10	日本航空	ボーイング式787-8型	JA837J	パリ	成田国際空港	機長に通知せず、危険物を輸送した。	
9/10	日本航空	ボーイング式787-8型	JA834J	成田国際空港	サンディエゴ	離陸後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
9/10	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA753A			自社事例の水平展開の結果、乗客用座席のカバーに誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
9/10	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA69AN			自社事例の水平展開の結果、乗客用座席のカバーに誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
9/11	ピーチ・アビエーション	エアバスA320-214型	JA812P			定時整備中、航空機用救命無線機が不作為であることを発見した。	
9/11	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA716A	東京国際空港	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/11	ピーチ・アビエーション	エアバスA320-214型	JA803P	福岡空港	那覇空港	進入中、ウインドシアア警報が不作為であることを示す計器表示があった。	
9/11	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA57AN	東京国際空港	富山空港	着陸時、鳥衝突により第2エンジンのファンブレード等が損傷した。	
9/11	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA707A	那覇空港	東京国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
9/11	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300F型	JA605F	東京国際空港	那覇空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
9/11	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300F型	JA604F	那覇空港	上海(浦東)	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
9/13	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T	那覇空港	東京国際空港	運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。	
9/14	全日本空輸	エアバスA320-211型	JA8947	新千歳空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	東京国際空港	那覇空港	降下中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
9/14	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA733A	ロンドン	東京国際空港	機長に通知せず、危険物を輸送した。	
9/14	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA791A	ニューヨーク	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
9/15	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA20JJ	那覇空港	関西国際空港	進入中、ウインドシアー警報が不動作であることを示す計器表示があった。	
9/15	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA752A	東京国際空港	福岡空港	進入中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
9/16	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA207J	仙台空港	新千歳空港	巡航中、第1エンジンの回転数が運用限界を超過した。	
9/17	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA779A	シカゴ	成田国際空港	離陸時、客室天井のパネルが落下した。	
9/18	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA205J	新千歳空港	秋田空港	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
9/18	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8356			定時整備中、胴体の構造部に腐食を発見した。	
9/19	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8395	岩国飛行場	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/19	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA833A	東京国際空港	福岡空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
9/20	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ			整備作業後の確認の結果、エンジンのギアボックスに誤った部品番号のバックキが取り付けられていることが判明した。	
9/20	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA01FJ			自社事例の水平展開の結果、エンジンのギアボックスに誤った部品番号のバックキが取り付けられていることが判明した。	
9/20	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA02FJ			自社事例の水平展開の結果、エンジンのギアボックスに誤った部品番号のバックキが取り付けられていることが判明した。	
9/20	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ			自社事例の水平展開の結果、エンジンのギアボックスに誤った部品番号のバックキが取り付けられていることが判明した。	
9/20	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA05FJ			自社事例の水平展開の結果、エンジンのギアボックスに誤った部品番号のバックキが取り付けられていることが判明した。	
9/20	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA06FJ			自社事例の水平展開の結果、エンジンのギアボックスに誤った部品番号のバックキが取り付けられていることが判明した。	
9/20	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	中部国際空港	福岡空港	離陸後、後方貨物室扉が確実に閉じられていないことを示す計器表示があった。	
9/20	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA205J	大阪国際空港	松山空港	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
9/21	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA51AN			定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
9/22	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA01FJ	名古屋飛行場	福岡空港	離陸滑走中、鳥衝突により第1エンジンのファンブレードが損傷した。	
9/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA856A	宮崎空港	福岡空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、右主脚扉が正常に格納されていないことを示すライトが点灯したままとなった。	
9/22	日本航空	ボーイング式737-800型	JA310J	台北(松山)	成田国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	東京国際空港	福岡空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
9/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	福岡空港	東京国際空港	エンジン始動後、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
9/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	鹿児島空港	東京国際空港	運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。	
9/23	朝日航洋	川崎式BK117C-2型	JA6910	群馬ヘリポート	館林高等学校グラウンド	着陸時、主回転翼のシャフトにかかる荷重が運用限界を超過した。	
9/23	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8356			定時整備中、左側パイロンの構造部に亀裂を発見した。	
9/23	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8356			定時整備中、右側水平尾翼の構造部に腐食を発見した。	
9/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NQ	福岡空港	東京国際空港	運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。	
9/23	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8400	東京国際空港	岡山空港	整備作業後の確認に不備があった。	
9/23	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA620A	広州	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
9/24	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA736J	中部国際空港	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/26	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA812X	宮崎空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/27	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A	大阪国際空港	松山空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
9/28	日本航空	ボーイング式737-800型	JA311J	徳島飛行場	東京国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/28	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA8359	東京国際空港	旭川空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NA	神戸空港	長崎空港	運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。	
9/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	東京国際空港	鹿児島空港	整備作業後の確認にて、電波高度計の送受信機に使用してはいけないものが搭載されていることが判明した。	
9/28	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA02FJ	静岡空港	福岡空港	巡航中、操縦室内で一時的に異臭がしたため、運航乗務員が酸素マスクを使用した。	
9/29	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA710A	成田国際空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
9/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	東京国際空港	福岡空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
9/30	日本航空	ボーイング式777-200型	JA707J	香港	東京国際空港	巡航中、乗客用座席のモニターから煙が発生したため、客室乗務員が消火器を使用した。	
9/30	新中央航空	ルアグ式Dornier228-212型	JA35CA	大島空港	調布飛行場	第1エンジン始動時、排気ガス温度の運用限界を超過した。	
9/30	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ			自社事例の水平展開の結果、エンジンの燃料ポンプに誤った部品番号のバッキンが取り付けられていることが判明した。	
10/1	全日本空輸	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA844A	福岡空港	大阪国際空港	運航管理者が必要な訓練の一部を受けずに業務に従事したことが判明した。	
10/1	日本航空	ボーイング式777-200型	JA008D	新千歳空港	東京国際空港	機長に通知せず、危険物を輸送した。	
10/1	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ	仙台空港	中部国際空港	巡航中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
10/1	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA851C	屋久島空港	鹿児島空港	社内確認の結果、右主脚の構成部品の交換期限を超過していることが判明した。	
10/2	日本航空	ボーイング式787-8型	JA827J	成田国際空港	サンフランシスコ	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/2	全日本空輸	エアバス式A320-211型	JA8947	大阪国際空港	新千歳空港	離陸滑走中、第2エンジンから異音が出たため離陸を中止した。	イレギュラー運航
10/2	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA10RJ	中部国際空港	大分空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/2	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA307K	宮古空港	沖縄空港	機長に通知せず、危険物を輸送した。	
10/2	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8994	関西国際空港	那覇空港	巡航中、右燃料タンクの燃料油量計の表示に不具合が生じた。	
10/3	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA98AD	東京国際空港	新千歳空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
10/3	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA10RJ	新潟空港	大阪国際空港	巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
10/3	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA77AN	東京国際空港	神戸空港	離陸時、鳥衝突により第2エンジンのファンブレードが損傷した。	
10/3	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA8195	新潟空港	福岡空港	巡航中、第1エンジンの出力が低下したため、当該エンジンを停止し航空交通管制上の優先権を要請のうえ、目的地を変更した。	イレギュラー運航
10/3	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA859A	大阪国際空港	新潟空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
10/3	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA732A	ヒューストン	成田国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
10/4	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300型	JA622A	ホーチミン	成田国際空港	上昇中、左側の電気系統に不具合が発生したことを示す計器表示があったため、航空交通管制上の優先権を要請のうえ、引き返した。	イレギュラー運航
10/4	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA357K	福岡空港	成田国際空港	進入中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
10/4	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8995	那覇空港	宮古空港	運航整備中、左主翼の燃料タンクのパネルが前後逆に取り付けられていることを発見した。	
10/5	静岡エアコミューター	アグスタ式AW109SP型	JA10YM	静岡ヘリポート	東京大学病院ヘリポート	降下中、第2エンジンの滑油温度が上昇したことを示すライトが点灯したため、当該エンジンを停止し、目的地を変更した。	イレギュラー運航
10/6	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA828A	シンガポール	成田国際空港	着陸時、航空機衝突防止装置及び航空交通管制用自動応答装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
10/6	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA21MC	東京国際空港	北九州空港	進入中、客室内の一部の非常用照明灯が正常に点灯しなかった。	
10/6	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8976	那覇空港	東京国際空港	進入復行後、管制指示高度を逸脱した。	
10/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NU	鹿児島空港	東京国際空港	進入中、脚下げ操作を実施したが、右主脚が確実に下りていることを示すライトが点灯しなかった。	
10/6	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA808P	台北(桃園)	関西国際空港	書類確認の結果、運航乗務員が航空身体検査証明の条件を満足せず業務を行ったことが判明した。	
10/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	東京国際空港	神戸空港	運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。	
10/7	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA359K	福岡空港	中部国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
10/7	日本航空	ボーイング式737-800型	JA310J	釜山	成田国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
10/7	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA33CA	神津島空港	調布飛行場	離陸後、高揚力装置(フラップ)が作動しなかった。	
10/8	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA06AN	関西国際空港	新千歳空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
10/8	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA609A	マニラ	東京国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
10/8	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA305K	宮古空港	沖縄空港	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
10/9	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	シカゴ	ニューヨーク	運航乗務員が必要な訓練の一部を受けずに乗務したことが判明した。	
10/10	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA20JJ	新千歳空港	成田国際空港	巡航中、気象レーダーが不動作であることを示す計器表示があった。	
10/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	新千歳空港	神戸空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
10/10	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8364	東京国際空港	鹿児島空港	進入中、前方に固定翼機を確認したため、着陸をやり直した。	重大インシデント
10/10	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA208J	仙台空港	新千歳空港	運用許容基準の適用に不備があった。	
10/10	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA208J	新千歳空港	新潟空港	運用許容基準の適用に不備があった。	
10/10	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA208J	新潟空港	新千歳空港	運用許容基準の適用に不備があった。	
10/11	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA07KZ	シンガポール	バンコク	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
10/11	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA741J	シカゴ	成田国際空港	機長に通知せず、危険物を輸送した。	
10/11	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA783A	サンフランシスコ	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
10/13	中日本航空	ユーロコプター式EC135P2+型	JA121D	岩手医大病院 場外離着陸場	福島空港	飛行中、無線電話に不具合が発生したため、引き返した。	イレギュラー運航
10/13	天草エアライン	デ・ハビランド式DHC-8-103型	JA81AM	福岡空港	天草飛行場	着陸後、第2エンジンに火災が発生したことを示す計器表示があり、白煙が確認されたため、滑走路上で停止のうえ消火装置を作動させた。	イレギュラー運航
10/14	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA03RJ	大分空港	大阪国際空港	整備作業後の確認の結果、右主脚の部品の一部に誤った部品番号のものが取り付けられていることが判明した。	
10/14	日本航空	ボーイング式737-800型	JA327J	東京国際空港	松山空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/14	全日本空輸	エアバス式A320-211型	JA8300	岩国飛行場	東京国際空港	離陸滑走中、第1エンジンに鳥が衝突したため、離陸を中止した。	
10/14	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA778A			定時整備中、航空機用救命無線機が不動作であることを発見した。	
10/14	新中央航空	ルアグ式Dornier228-212型	JA34CA	調布飛行場	神津島空港	降下中、失速警報が誤作動したため、引き返した。	イレギュラー運航
10/15	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA601A	東京国際空港	新千歳空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
10/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	東京国際空港	神戸空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
10/16	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA8359			社内調査の結果、整備作業に使用したテープが手順書で指定したものではないことが判明した。	
10/16	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA792A	成田国際空港	ニューヨーク	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/16	日本航空	ボーイング式737-800型	JA333J	東京国際空港	大分空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/16	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA08KZ	シンガポール	バンコク	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
10/17	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NF	新千歳空港	福岡空港	巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	
10/17	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA803P			定時整備中、航空機用救命無線機が不動作であることを発見した。	
10/17	日本航空	ボーイング式787-8型	JA832J	ボストン	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/17	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA703A	東京国際空港	那覇空港	整備作業後の確認に不備があった。	
10/19	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA740J	シカゴ	成田国際空港	機長に通知せず、危険物を輸送した。	
10/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ	東京国際空港	那覇空港	運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。	
10/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	新千歳空港	神戸空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
10/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	鹿児島空港	神戸空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
10/20	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	神戸空港	仙台空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
10/20	全日本空輸	エアバス式A320-211型	JA8400			定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
10/21	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA67AN	那覇空港	大阪国際空港	巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	
10/21	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA20MC	東京国際空港	福岡空港	着陸後、客室の調理室内のコンテナが床に落下した。	
10/21	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA814P	関西国際空港	関西国際空港	耐空証明検査飛行中、乗客用の酸素マスクが自動で落下しなかった。	
10/21	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA207J	那覇空港	那覇空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、前脚が正常に格納されていないことを示す計器表示があった。	
10/22	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8300	新千歳空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737X	百里飛行場	福岡空港	離陸後、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
10/22	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA809P			装備品整備中、航空機用救命無線機の送信出力が基準値以下であった。	
10/22	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8323	中部国際空港	那覇空港	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
10/23	エア・ドゥ	ボーイング式737-700型	JA12AN	帯広空港	東京国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
10/23	日本航空	ボーイング式787-8型	JA827J	関西国際空港	ロサンゼルス	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/24	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA05KZ	シンガポール	バンコク	危険物を誤輸送した。	
10/24	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA01HD	東京国際空港	旭川空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
10/24	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ	中部国際空港	仙台空港	社内調査の結果、整備作業後の確認に不備があることが判明した。	
10/24	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA03GR	広島空港	成田国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
10/25	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8365	東京国際空港	帯広空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
10/26	日本航空	ボーイング式737-800型	JA303J	東京国際空港	中部国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
10/27	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8304	東京国際空港	大分空港	運用許容基準の適用に不備があった。	
10/27	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8525	関西国際空港	那覇空港	運航整備中、操縦系統(スポイラー)のケーブルが分断していることを発見した。	
10/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Z	百里飛行場	新千歳空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/28	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/28	日本航空	ボーイング式737-800型	JA341J	鹿児島空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/28	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8938	福岡空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/28	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA01GR	成田国際空港	広島空港	整備作業後の確認に不備があった。	
10/28	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA844C	大阪国際空港	出雲空港	乗客用座席のシートベルトが誤って取り付けられていた。	
10/28	日本エアコミューター	サブ式SAAB340B型	JA8886	徳之島空港	奄美空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/29	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA844A	松山空港	大阪国際空港	上昇中、客室高度が高いことを示すライトが点灯した。	
10/29	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA814A	デュッセルドルフ	成田国際空港	巡航中、管制指示高度を逸脱し、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/29	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA607A	広州	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/30	日本航空	ボーイング式777-200型	JA007D	東京国際空港	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
10/30	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA8359	東京国際空港	女満別空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
10/30	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA21MC	北九州空港	務安(韓国)	運航管理者が必要な訓練の一部を受けずに業務に従事したことが判明した。	
10/31	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA836A	パリ	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/2	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8984	福岡空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/2	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8304	東京国際空港	鳥取空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
11/2	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA13JJ	成田国際空港	松山空港	エンジン始動後、対地接近警報装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
11/2	日本航空	ボーイング式767-300型	JA607J	成田国際空港	ジャカルタ	適切な代替飛行場を選定せず出発した。	
11/2	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA13JJ	成田国際空港	松山空港	エンジン始動後、対地接近警報装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
11/2	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA736A	ロサンゼルス	東京国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
11/3	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA810A	山口宇部空港	東京国際空港	離陸後、鳥衝突により第2エンジンの吸音板及びファン出口ガイドベーン等が損傷した。	
11/3	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA8359	東京国際空港	旭川空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
11/3	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA06KZ	成田国際空港	アンカレッジ	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
11/4	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA790A	ニューヨーク	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/4	スカイネットアジア航空	ボーイング式737-800型	JA807X	宮崎空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/4	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA733A	ニューヨーク	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/4	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA8359	東京国際空港	新千歳空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
11/4	静岡エアコミュータ	セスナ式525A型	JA391C	那覇空港	北九州空港	離陸後、管制指示高度を逸脱した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
11/4	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA203J	大阪国際空港	那覇空港	進入中、脚下げ操作を実施したが、前脚が確実に下りていることを示すライトが点灯しなかった。	
11/4	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA207J	新千歳空港	花巻空港	運用許容基準の適用に不備があった。	
11/5	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA8286	台北(桃園)	成田国際空港	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	
11/5	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	鹿児島空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
11/5	日本航空	ボーイング式767-300型	JA618J	クアラルンプール	成田国際空港	巡航中、管制指示経路から逸脱した。	
11/5	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8998	新石垣空港	那覇空港	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	
11/5	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA04FJ	徳島飛行場	奄美空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/5	パナ・エア	エアバスA320-214型	JA04VA	那覇空港	成田国際空港	運用許容基準の適用に不備があった。	
11/5	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA846C	奄美空港	鹿児島空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/6	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA8359	東京国際空港	新千歳空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
11/6	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA8359	東京国際空港	新千歳空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
11/6	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8992	那覇空港	宮古空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
11/6	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	長崎空港	対馬空港	整備作業中、警報表示パネルの一部に誤った表示がされていることを発見した。	
11/7	ピーチ・アビエーション	エアバスA320-214型	JA810P			定時整備中、航空機用救命無線機が不作動であることを発見した。	
11/7	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA8197	関西国際空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/7	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA10AN	ムンバイ	成田国際空港	運航整備中、左主脚のタイヤの一部が剥がれていることを発見した。	
11/7	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA08JJ			整備作業後の確認に不備があった。	
11/8	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA805A	サンノゼ	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
11/9	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA05MC	東京国際空港	中部国際空港	整備作業後の確認に不備があった。	
11/10	日本航空	ボーイング式737-800型	JA328J	岡山空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/10	全日本空輸	エアバスA320-211型	JA8300	庄内空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/10	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	大阪国際空港	大分空港	必要な整備処置が実施されず、運航したことが判明した。	
11/10	日本航空	ボーイング式737-800型	JA310J	東京国際空港	中部国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
11/11	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ	福岡空港	小松飛行場	地上走行中、航空機衝突防止装置が不作動であることを示す計器表示があった。	
11/11	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8939	福岡空港	那覇空港	運航整備中、操縦系統(スポイラー)のケーブルが分断していることを発見した。	
11/11	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA872A	パリ	東京国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
11/12	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ			社内調査の結果、操縦系統の一部の点検期限が超過したことが判明した。	
11/12	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ			社内調査の結果、操縦系統の一部の点検期限が超過したことが判明した。	
11/12	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ			社内調査の結果、操縦系統の一部の点検期限が超過したことが判明した。	
11/12	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ			社内調査の結果、操縦系統の一部の点検期限が超過したことが判明した。	
11/12	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ			社内調査の結果、操縦系統の一部の点検期限が超過したことが判明した。	
11/12	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA10RJ			社内調査の結果、操縦系統の一部の点検期限が超過したことが判明した。	
11/12	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA03RJ	仙台空港	広島空港	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/12	エア・ドゥ	ボーイング式737-700型	JA01AN	新千歳空港	神戸空港	運航乗務員が必要な訓練の一部を受けずに業務に従事したことが判明した。	
11/13	日本航空	ボーイング式737-800型	JA344J	東京国際空港	高松空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
11/13	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA216J	花巻空港	大阪国際空港	整備の実施状況の確認の結果、保管期限を超過したバッテリーを装備したことが判明した。	
11/14	日本航空	ボーイング式767-300型	JA614J	成田国際空港	上海(浦東)	地上走行中、中央燃料タンクの燃料油量計の表示に不具合が生じた。	
11/14	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA20MC	東京国際空港	福岡空港	地上走行中、客室乗務員用座席からシートベルトが外れた。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
11/14	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA207J	新千歳空港	青森空港	運用許容基準の適用に不備があった。	
11/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	長崎空港	神戸空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
11/17	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA06MC	北九州空港	東京国際空港	整備の実施状況の確認の結果、着陸灯のライトに改修済タイプのもので使用すべきところ、改修前タイプのもので使用されていることが判明した。	
11/17	日本航空	ボーイング式767-300型	JA619J	マニラ	成田国際空港	運航乗務員が、従事する時間の制限を超えた状態で乗務した。	
11/17	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA32CA	調布飛行場	新島空港	巡航中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
11/18	日本航空	ボーイング式737-800型	JA340J	新千歳空港	中部国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/18	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA358K			定時整備中、胴体の外板に腐食を発見した。	
11/19	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA01HD			定時整備中、一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
11/19	天草エアライン	ATR式42-500型	JA01AM	熊本空港	熊本空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、右主脚が正常に格納されていないことを示すライトが点灯したままとなった。	
11/20	日本航空	ボーイング式737-800型	JA328J	東京国際空港	松山空港	運航整備中、右主翼の高揚力装置(フラップ)の後縁部に剥離を発見した。	
11/20	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA804A	ジャカルタ	東京国際空港	巡航中、非常用照明装置に不具合が発生した。	
11/21	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA221J	大阪国際空港	大阪国際空港	耐空証明検査飛行中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
11/21	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA04VA	新千歳空港	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
11/22	日本航空	ボーイング式767-300型	JA615J	成田国際空港	高雄	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	
11/22	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA819H			定時整備中、尾部貨物室扉の切り欠き部に腐食を発見した。	
11/23	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA460A	秋田空港	新千歳空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/23	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	アムステルダム	成田国際空港	運航乗務員が、従事する日数の制限を超えた状態で乗務した。	
11/23	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA610A	広島	成田国際空港	着陸後、鳥衝突により第1エンジンのファンブレードに損傷した。	
11/23	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA704A			定時整備中、航空機用救命無線機が不動作であることを発見した。	
11/23	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA857H			定時整備中、右主脚格納室内の構造部に亀裂を発見した。	
11/23	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA857H			定時整備中、右側及び左側水平尾翼の構造部に腐食を発見した。	
11/23	日本航空	ボーイング式737-800型	JA312J	東京国際空港	中部国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
11/24	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA803P			装備品整備中、航空機用救命無線機の送信出力が基準値以下であった。	
11/25	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA899S	中部国際空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
11/25	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA786A	東京国際空港	フランクフルト	巡航中、管制指示経路を逸脱した。	
11/25	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA848A			社内確認の結果、プロペラのオーバーホール期限を超過していることが判明した。	
11/25	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA736J	ニューヨーク	成田国際空港	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
11/26	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA10RJ	大阪国際空港	福岡空港	運用許容基準の適用に不備があった。	
11/26	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA20MC	東京国際空港	山口宇部空港	運航整備中、第2エンジンのファンブレードに損傷を発見した。	
11/26	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA05KZ	成田国際空港	ロサンゼルス	運航乗務員が必要な訓練の一部を受けずに業務に従事したことが判明した。	
11/26	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	成田国際空港	香港	運航乗務員が必要な訓練の一部を受けずに業務に従事したことが判明した。	
11/26	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA05KZ	シンガポール	バンコク	運航乗務員が必要な訓練の一部を受けずに業務に従事したことが判明した。	
11/26	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	ロサンゼルス	サンフランシスコ	運航乗務員が必要な訓練の一部を受けずに業務に従事したことが判明した。	
11/26	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	シカゴ	ダラス	運航乗務員が必要な訓練の一部を受けずに業務に従事したことが判明した。	
11/26	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	アンカレッジ	成田国際空港	運航乗務員が必要な訓練の一部を受けずに業務に従事したことが判明した。	
11/26	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	成田国際空港	香港	運航乗務員が必要な訓練の一部を受けずに業務に従事したことが判明した。	
11/26	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	成田国際空港	アンカレッジ	運航乗務員が必要な訓練の一部を受けずに業務に従事したことが判明した。	
11/27	朝日航洋	ソルスキー式S-76C型	JA6920	東富士場外離着陸場	元町場外離着陸場	運航整備中、左側水平安定板の上面に損傷を発見した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
11/27	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA202J	女満別空港	新千歳空港	上昇中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
11/27	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA01JJ	成田国際空港	福岡空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
11/27	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8975	那覇空港	東京国際空港	機長に通知せず、危険物を輸送した。	
11/27	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA20MC	山口宇部空港	北九州空港	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	
11/27	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8994			社内確認の結果、燃料系統の遮断弁の交換期限を超過していることが判明した。	
11/27	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8975	東京国際空港	旭川空港	誤った情報により、許容される着陸性能上の重量を超えて着陸した。	
11/27	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA04KZ	上海(浦東)	成田国際空港	整備従事者が必要な定期訓練の一部を受講せず整備の確認をしたことが判明した。	
11/29	日本航空	ボーイング式787-8型	JA839J	成田国際空港	ヘルシンキ	巡航中、副操縦士側の航法表示装置に不具合が発生した。	
11/29	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA712A	福岡空港	東京国際空港	上昇中、第1エンジンから異音及び振動が発生し、排気ガス温度が上昇したため、当該エンジンを停止し航空交通管制上の優先権を要請のうえ、引き返した。	イレギュラー運航
11/29	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA617A	関西国際空港	香港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
11/29	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA741A	東京国際空港	那覇空港	最大離陸重量を超過して離陸した。	
11/30	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA845A	福岡空港	大阪国際空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、前脚が正常に格納されていないことを示すライトが点灯したままとなったため、引き返した。	イレギュラー運航
12/1	日本航空	ボーイング式767-300型	JA616J	マニラ	成田国際空港	巡航中、客室の調理室内のコーヒーマーカーから煙が発生したため、客室乗務員が消火器を使用した。	
12/1	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA804P	成田国際空港	関西国際空港	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	
12/2	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA32CA	調布飛行場	神津島空港	地上走行中、高揚力装置(フラップ)が作動しなかった。	
12/3	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA10RJ	仙台空港	福岡空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
12/3	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA755A	東京国際空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/3	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA75AN	鳥取空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NX	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/3	日本航空	ボーイング式777-200型	JA707J	名古屋飛行場	バンダラナイケ(スリランカ)	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	
12/3	日本航空	ボーイング式777-200型	JA707J	バンダラナイケ(スリランカ)	エンテベ(ウガンダ)	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
12/3	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8525			自社事例の水平展開の結果、燃料系統の遮断弁の交換期限を超過していることが判明した。	
12/3	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA206J	新千歳空港	秋田空港	進入中、計器着陸装置の一部に不具合が発生したことを示す計器表示があったため、目的地を変更した。	イレギュラー運航
12/4	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ	成田国際空港	小松飛行場	降下中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
12/4	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA31CA			社内調査の結果、運航乗務員の訓練内容に不備があったことが判明した。	
12/4	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC	福岡空港	中部国際空港	離陸前、ウインドシアア警報が不作為であることを示す計器表示があった。	
12/4	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA98AD	東京国際空港	旭川空港	降下中、管制指示高度を逸脱した。	
12/4	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA737J	シドニー	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
12/6	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA301K	成田空港	新千歳空港	上昇中、燃料油量計の表示に不具合があったため、左右燃料タンクの燃料量の差異が、運用限界を超過した。	
12/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND			整備委託先で実施した整備作業の記録を確認した結果、胴体のリベットに誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
12/6	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA23MC			定時整備中、電気配線の固定方法に誤りがあることを発見した。	
12/7	日本航空	ボーイング式767-300型	JA656J	熊本空港	東京国際空港	飛行中、機内に無申告危険物が持ち込まれていることを発見した。	
12/7	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA850A	新千歳空港	稚内空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
12/8	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NQ	那覇空港	中部国際空港	巡航中、対地接近警報装置が不作為であることを示すライトが点灯した。	
12/8	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300型	JA8286	アモイ(中国)	那覇空港	離陸後、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
12/8	日本航空	ボーイング式787-8型	JA826J	ボストン	成田国際空港	上昇中、操縦系統の一部(スポイラー)に不具合が発生したことを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
12/8	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA857A			装備品整備中、航空機用救命無線機が不作為であることを発見した。	
12/8	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA203J	福岡空港	花巻空港	進入中、脚の位置等を検出する装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	イレギュラー運航

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
12/9	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA602A	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/9	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8568	那覇空港	高松空港	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/9	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA801A	ソウル(金浦)	東京国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
12/9	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA212J			社内調査の結果、非常脱出用スライドのオーバーホール期限が超過したことが判明した。	
12/10	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA821A	東京国際空港	鹿児島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により操作を行った。	
12/10	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA716A	香港	東京国際空港	機長に通知せず、危険物を輸送した。	
12/10	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA806X	羽田空港	宮崎空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
12/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	東京国際空港	神戸空港	運航乗務員が、規定された休養時間を満たさず乗務した。	
12/11	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA57AN	富山空港	東京国際空港	進入中、操作することが許容される高度以下で、スピードブレイクレバーを操作した。	
12/11	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA824A	鹿児島空港	東京国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
12/11	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA07MC			装備品整備中、航空機用救命無線機の送信出力が基準値以下であった。	
12/11	日本航空	ボーイング式737-800型	JA302J	東京国際空港	山口宇部空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
12/12	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA8198	長崎空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/12	日本航空	ボーイング式737-800型	JA341J	青森空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/12	日本航空	ボーイング式777-200型	JA773J	新千歳空港	東京国際空港	降下中、管制指示高度を逸脱した。	
12/12	日本航空	ボーイング式767-300型	JA619J	クアラルンプール	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
12/12	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	彦根空港	長崎空港	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	
12/13	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA623A	ホノルル	成田国際空港	機長に通知せず、危険物を輸送した。	
12/14	日本航空	ボーイング式767-300型	JA608J	シンガポール	成田国際空港	進入中、対地接近警報装置が誤作動した。	
12/14	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA817A	岡山空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/14	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA07KZ	上海(浦東)	成田国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
12/15	日本航空	ボーイング式737-800型	JA318J	東京国際空港	関西国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
12/15	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA609A	広州	成田国際空港	運用許容基準の適用に不備があった。	
12/16	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA8596	大阪国際空港	長崎空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/16	日本航空	ボーイング式737-800型	JA347J	秋田空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/17	日本航空	ボーイング式737-800型	JA314J	東京国際空港	松山空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
12/17	日本航空	ボーイング式767-300型	JA657J	東京国際空港	福岡空港	整備作業後の確認に不備があった。	
12/17	日本航空	ボーイング式737-800型	JA316J	高松空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/17	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA812P			整備委託先で実施した整備作業の記録を確認した結果、整備作業後の確認に不備があったことが判明した。	
12/17	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA816P	関西国際空港	福岡空港	運航乗務員が、航空身体検査基準に適合しないまま業務に従事したことが判明した。	
12/18	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	香港	成田国際空港	着陸後、第3エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
12/18	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA610A	成田国際空港	台北(桃園)	巡航中、操縦室内でもやのようなものが発生したため、航空交通管制上の優先権を要請のうえ、目的地を変更した。	イレギュラー運航
12/18	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA304K	中部国際空港	福岡空港	運航整備中、第1エンジンのファンブレードに損傷を発見した。	
12/18	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA874A	バンクーバー	東京国際空港	運航に必要な情報が運航乗務員に提供されていなかった。	
12/19	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA73AN	小松飛行場	東京国際空港	離陸滑走中、前方乗降用扉が確実に閉じられていないことを示すライトが点灯したため、離陸を中止した。	
12/19	日本航空	ボーイング式787-8型	JA838J	ダラス	成田国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/19	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8674	福岡空港	東京国際空港	運航整備中、第2エンジンのファンブレード等に損傷を発見した。	
12/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	那覇空港	東京国際空港	運航整備中、車輪ブレーキの内部部品の損傷を発見した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
12/19	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA06FJ			整備作業後の確認の結果、エンジンの滑油系統に誤った部品番号のバックキンが取り付けられていることが判明した。	
12/19	日本航空	ボーイング式787-8型	JA842J	ヘルシンキ	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
12/19	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA08FJ			整備作業後の確認の結果、エンジンの滑油系統に誤った部品番号のバックキンが取り付けられていることが判明した。	
12/19	日本航空	ボーイング式787-8型	JA826J	成田国際空港	ホーチミン	巡航中、第1エンジンの滑油量及び滑油圧力が低下したため、当該エンジンを停止し航空交通管制上の優先権を要請のうえ、目的地を変更した。	イレギュラー運航
12/20	日本航空	ボーイング式737-800型	JA334J	岡山空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/21	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A	大阪国際空港	鹿児島空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/21	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA17AN			装備品整備中、航空機用救命無線機が不動作であることを発見した。	
12/21	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA8500	福岡空港	中部国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
12/22	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ			整備作業後の確認の結果、水平安定板の放電素子に誤った部品番号のものが取り付けられていることが判明した。	
12/23	日本航空	ボーイング式737-800型	JA309J	東京国際空港	北九州空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
12/23	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA31CA	神津島空港	調布飛行場	巡航中、第2エンジンのトルク計の指示が不安定となった。	
12/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NU	那覇空港	福岡空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
12/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NU	那覇空港	福岡空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
12/24	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ	成田国際空港	新千歳空港	巡航中、ウインドシアア警報が不動作であることを示す計器表示があった。	
12/24	全日本空輸	エアバス式A320-211型	JA8609	佐賀空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/24	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA53AN	富山空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/24	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA8195			定時整備中、右主翼の構造部に腐食を発見した。	
12/25	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8991	那覇空港	福岡空港	降下中、最大運用限界速度を超過した。	
12/25	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300型	JA627A	ヤンゴン	成田国際空港	上昇中、管制指示経路を逸脱した。	
12/25	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA22MC	福岡空港	東京国際空港	運用許容基準の適用に不備があった。	
12/26	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA755A	東京国際空港	新千歳空港	運用許容基準の適用に不備があった。	
12/27	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA14AN			定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
12/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NR	百里飛行場	新千歳空港	巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	
12/27	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA205J	大阪国際空港	新潟空港	社内確認の結果、法定検査を受けずに装備品を装着したことが判明した。	
12/27	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	新千歳空港	東京国際空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
12/28	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA804X	東京国際空港	大分空港	上昇中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	
12/28	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA734J	シカゴ	成田国際空港	運航整備中、航空機部品の脱落を発見した。	イレギュラー運航
12/28	日本航空	ボーイング式737-800型	JA311J	東京国際空港	釧路空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
12/28	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA614A	東京国際空港	新潟空港	最大離陸重量を超過して離陸した。	
12/28	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ			整備作業中、エンジンのギアボックスに誤った部品番号のバックキンが取り付けられていることを発見した。	
12/29	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA782A	シカゴ	成田国際空港	運航整備中、航空機部品の脱落を発見した。	
12/29	日本航空	ボーイング式737-800型	JA318J	高松空港	東京国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
12/29	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA602A	東京国際空港	庄内空港	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/29	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA222J	青森空港	大阪国際空港	離陸滑走中、視程が急激に悪化したため、離陸を中止した。	
12/30	日本航空	ボーイング式737-800型	JA303J	東京国際空港	中部国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
12/30	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8674	鹿児島空港	中部国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
12/30	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA735J	東京国際空港	ロンドン	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
12/31	エア・ドゥ	ボーイング式737-700型	JA15AN	新千歳空港	神戸空港	上昇中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
1/1	日本航空	ボーイング式777-200型	JA009D	東京国際空港	東京国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/1	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA706A	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/1	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA205J	新千歳空港	新潟空港	進入中、脚下げ操作を実施したが、前脚が確実に下りていることを示すライトが点灯しなかった。	
1/1	日本航空	ボーイング式767-300型	JA654J	東京国際空港	ソウル(金浦)	降下中、管制指示高度を逸脱した。	
1/1	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA04JJ	福岡空港	中部国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/1	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA11RJ			自社事例の水平展開の結果、エンジンの滑油系統に誤った部品番号のバックキが取り付けられていることが判明した。	
1/1	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA10RJ			自社事例の水平展開の結果、エンジンの滑油系統に誤った部品番号のバックキが取り付けられていることが判明した。	
1/1	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ			自社事例の水平展開の結果、エンジンの滑油系統に誤った部品番号のバックキが取り付けられていることが判明した。	
1/1	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ			自社事例の水平展開の結果、エンジンの滑油系統に誤った部品番号のバックキが取り付けられていることが判明した。	
1/1	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ			自社事例の水平展開の結果、エンジンの滑油系統に誤った部品番号のバックキが取り付けられていることが判明した。	
1/1	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ			自社事例の水平展開の結果、エンジンの滑油系統に誤った部品番号のバックキが取り付けられていることが判明した。	
1/2	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA8359	東京国際空港	新千歳空港	上昇中、管制指示高度を逸脱した。	
1/4	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	福江空港	長崎空港	進入中、高揚力装置(フラップ)が一部の範囲で作動しなかった。	
1/4	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA79AN	小松飛行場	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/4	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NU	東京国際空港	福岡空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
1/5	エア・ドゥ	ボーイング式737-700型	JA16AN	東京国際空港	旭川空港	上昇中、対地接近警報装置が不作為であることを示すライトが点灯した。	
1/5	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA19JJ	成田国際空港	福岡空港	巡航中、静圧孔の防水装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
1/5	日本航空	ボーイング式737-800型	JA330J	東京国際空港	鹿児島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
1/5	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA602A	福岡空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/8	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8597	関西国際空港	那覇空港	出発前の点検中、運航に必要な規定が搭載されていないことを発見した。	
1/8	日本航空	ボーイング式737-800型	JA301J	東京国際空港	中部国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
1/8	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA8197	那覇空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/9	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA803P			定時整備中、航空機用救命無線機が不作為であることを発見した。	
1/9	琉球エア・コミュニケーター	ボンバルディア式DHC-8-314型	JA8936	那覇空港	久米島空港	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	
1/10	日本航空	ボーイング式787-8型	JA837J	ヘルシンキ	成田国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/11	日本航空	ボーイング式767-300型	JA656J	熊本空港	東京国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/11	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8994	宮古空港	那覇空港	離陸滑走中、右側の抽気系統の不具合を示すライトが点灯したため、離陸を中止した。	
1/11	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA783A	ワシントン	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
1/11	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA216J	鹿児島空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NF	福岡空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
1/12	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA09MC	福岡空港	中部国際空港	上昇中、対地接近警報装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
1/12	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	シカゴ	アンカレッジ	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
1/14	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA08KZ	那覇空港	成田国際空港	飛行中、管制通信が一時的に途絶した。	
1/14	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA830A	東京国際空港	福岡空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
1/14	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA875A	シドニー	東京国際空港	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	
1/14	ファーストエアートランスポート	ソルスキー式S-76C型	JA11CJ	静岡空港	静岡空港	巡航中、対地接近警報装置が不作為となった。	
1/16	日本航空	ボーイング式737-800型	JA336J	熊本空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/16	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA01JJ	成田国際空港	新千歳空港	巡航中、対地接近警報装置が不作為であることを示す計器表示があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
1/17	日本航空	ボーイング式737-800型	JA344J	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/17	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8992	那覇空港	中部国際空港	巡航中、気流の擾乱により管制指示高度を逸脱した。	
1/17	日本航空	ボーイング式737-800型	JA302J	東京国際空港	鹿児島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
1/17	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8357	仙台空港	那覇空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
1/18	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA14JJ	台北(桃園)	中部国際空港	降下中、航空機用救命無線機が誤作動した。	
1/18	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA781A	ワシントン	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
1/18	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA04RJ	福島空港	大阪国際空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、左右の主脚が正常に格納されていないことを示すライトが点灯したままとなったため、引き返した。	イレギュラー運航
1/19	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA06FJ	熊本空港	名古屋飛行場	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/19	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8324	東京国際空港	熊本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/19	全日本空輸	エアバス式A320-211型	JA8946	東京国際空港	庄内空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
1/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
1/19	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA619A			定時整備中、左主翼下面の外板に亀裂を発見した。	
1/20	日本航空	ボーイング式737-800型	JA303J	関西国際空港	上海(浦東)	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/20	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA21MC			装備品整備中、航空機用救命無線機の送信出力が基準値以下であった。	
1/21	日本航空	ボーイング式787-8型	JA834J	成田国際空港	サンディエゴ	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/21	日本航空	ボーイング式777-300型	JA752J	大阪国際空港	那覇空港	出発前の点検中、非常時に乗降用扉を開ける装置の不具合を発見した。	
1/21	全日本空輸	エアバス式A320-211型	JA8654	東京国際空港	大分空港	進入中、対地接近警報装置の作動により操作を行った。	
1/21	日本航空	ボーイング式737-800型	JA340J	青森空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/22	全日本空輸	エアバス・インダストリー式A320-200型	JA8654	岩国飛行場	東京国際空港	離陸滑走中、鳥衝突により第1エンジンの吸音板及びファン出口ガイドベーン等が損傷した。	
1/22	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA07MC	東京国際空港	北九州空港	進入中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
1/22	日本エアコミューター	サーブ式SAAB340B型	JA8649	福岡空港	松山空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA334J	東京国際空港	岡山空港	離陸後、客室内の酸素ボトルが床に落下した。	
1/24	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA827A	シアトル	成田国際空港	機長に通知せず、危険物を輸送した。	
1/25	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	成田国際空港	上海(浦東)	降下中、管制指示高度を逸脱した。	
1/25	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA64AN	新千歳空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/26	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA813P	関西国際空港	宮崎空港	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
1/26	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA741J	シカゴ	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
1/27	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA05JJ	成田国際空港	松山空港	上昇中、管制指示高度を逸脱した。	
1/27	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA33CA	新島空港	調布飛行場	降下中、航空機衝突防止装置が不動作となった。	
1/28	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA203J			社内調査の結果、エンジンの燃料ポンプ等のオーバーホール期限を超過していることが判明した。	
1/28	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA202J			自社事例の水平展開の結果、エンジンの燃料管制器のオーバーホール期限を超過していることを発見した。	
1/28	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA204J			自社事例の水平展開の結果、エンジンの燃料ポンプ等のオーバーホール期限を超過していることを発見した。	
1/28	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA206J			自社事例の水平展開の結果、エンジンの滑油ポンプ燃料ポンプ等のオーバーホール期限を超過していることを発見した。	
1/29	日本航空	ボーイング式737-800型	JA346J	東京国際空港	釧路空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
1/29	日本航空	ボーイング式777-200型	JA8977	福岡空港	東京国際空港	離陸滑走中、第1エンジンに不具合が発生したことを示す計器表示があったため、離陸を中止した。	
1/29	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8998	宮古空港	東京国際空港	機長に通知せず、危険物を輸送した。	
1/29	日本航空	ボーイング式787-8型	JA822J	バンクーバー	成田国際空港	巡航中、第2エンジンに不具合が発生したことを示す計器表示があったため、当該エンジンを停止し、航空交通管制上の優先権を要請のうえ、着陸した。	イレギュラー運航
1/29	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA209J	花巻空港	大阪国際空港	降下中、運用限界を超える速度でワイバーを操作した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
1/29	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA845C			他社事例の水平展開の結果、エンジンの滑油ポンプのオーバーホール期限を超過していることが判明した。	
1/29	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA846C			他社事例の水平展開の結果、燃料管制装置のオーバーホール期限を超過していることが判明した。	
1/29	日本エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA849C			他社事例の水平展開の結果、燃料管制装置のオーバーホール期限を超過していることが判明した。	
1/30	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA712A	広島空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/30	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA808P	那覇空港	香港	離陸後、管制指示高度を逸脱した。	
1/30	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA809P	那覇空港	関西国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
1/31	日本航空	ボーイング式737-800型	JA311J	東京国際空港	山口宇部空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/31	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8568	大阪国際空港	仙台空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
1/31	日本航空	ボーイング式767-300型	JA613J	上海(浦東)	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
1/31	エアージャパン	ボーイング式767-300型	JA8323	バンコク	関西国際空港	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	
1/31	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA613A	成田国際空港	台北(桃園)	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
2/1	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA817A	東京国際空港	長崎空港	整備作業後の確認に不備があった。	
2/2	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA736A	成田国際空港	ニューヨーク	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/2	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NX	東京国際空港	那覇空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/3	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA13KZ	上海(浦東)	成田国際空港	整備作業後の確認の結果、第2エンジンの発電機に誤った部品番号のものが取り付けられていることが判明した。	
2/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	神戸空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
2/4	エア・ドゥ	ボーイング式737-700型	JA16AN	新千歳空港	仙台空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
2/4	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8988	東京国際空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/4	日本航空	ボーイング式767-300型	JA629J	クアラルンプール	成田国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
2/5	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA225J	鹿児島空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/6	日本航空	ボーイング式737-800型	JA337J	東京国際空港	釧路空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
2/6	日本航空	ボーイング式767-300型	JA610J	成田国際空港	フェアバンクス(アメリカ)	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
2/8	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA807X	東京国際空港	大分空港	巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	
2/8	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA01HD	東京国際空港	旭川空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
2/9	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA806X	東京国際空港	宮崎空港	巡航中、対地接近警報装置が不動作であることを示すライトが点灯した。	
2/9	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA817A	東京国際空港	福岡空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
2/9	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA803X	神戸空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/10	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA78AN	大阪国際空港	仙台空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
2/11	日本航空	ボーイング式787-9型	JA862J	成田国際空港	フランクフルト	巡航中、乗客用座席からシートベルトが外れた。	
2/11	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA816A	東京国際空港	佐賀空港	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/11	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA207J	花巻空港	新千歳空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/11	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA818A	岡山空港	東京国際空港	機長に通知せず、危険物を輸送した。	
2/12	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA02VA	成田国際空港	那覇空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
2/12	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA757A	東京国際空港	新千歳空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/12	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA8195	福岡空港	那覇空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/12	日本航空	ボーイング式737-800型	JA332J			耐空性改善通報により交換指示された部品が取付けられていることが判明した。	
2/13	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8980	東京国際空港	鹿児島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
2/13	日本航空	ボーイング式787-8型	JA824J			自社事例の水平展開の結果、耐空性改善通報により交換指示された部品が取付けられていることを発見した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
2/15	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA809A	東京国際空港	福岡空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
2/15	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA20MC	東京国際空港	山口宇部空港	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
2/15	バニラ・エア	エアバス式A320-214型	JA07VA	香港	成田国際空港	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	
2/16	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ			社内確認の結果、補助動力装置のバッテリーのオーバーホール期限を超過していることが判明した。	
2/16	ANAウイングス	ボーイング式737-500型	JA305K	大阪国際空港	松山空港	進入中、対地接近警報装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/16	日本航空	ボーイング式737-800型	JA311J	東京国際空港	高知空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/16	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA810P	那覇空港	台北(桃園)	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	
2/17	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA875A			整備作業後の確認に不備があった。	
2/17	エア・ドゥ	ボーイング式767-300型	JA01HD			定時整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
2/17	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA735A	東京国際空港	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/18	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73ND	百里飛行場	新千歳空港	離陸前、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
2/19	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA32CA	調布飛行場	新島空港	地上走行中、高揚力装置(フラップ)が作動しなかった。	
2/19	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA804X	東京国際空港	宮崎空港	社内確認の結果、ホイールのオーバーホールの整備深度を間違えて実施していたことが判明した。	
2/19	エアー・ジャパン	ボーイング式767-300F型	JA601F	上海(浦東)	成田国際空港	離陸後、航法系統の不具合を示す計器表示があった。	
2/19	日本航空	ボーイング式787-9型	JA862J	成田国際空港	フランクフルト	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
2/20	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8939	那覇空港	福岡空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/20	エア・ドゥ	ボーイング式737-700型	JA12AN	新千歳空港	東京国際空港	地上走行中、機内に無申告危険物が持ち込まれていることを発見した。	
2/21	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA206J	新千歳空港	青森空港	離陸時、右側の電気系統の不具合を示す計器表示があった。	
2/21	日本航空	ボーイング式767-300型	JA8987	東京国際空港	鹿児島空港	離陸時、鳥と衝突し、第2エンジンの振動値が高い計器表示があったため、当該エンジンを停止し航空交通管制上の優先権を要請のうえ、引き返した。	イレギュラー運航
2/21	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	シカゴ	成田国際空港	機長に通知せず、危険物を輸送した。	
2/22	エア・ドゥ	ボーイング式737-700型	JA15AN	新千歳空港	仙台空港	地上走行中、客室乗務員用座席からシートベルトが外れた。	
2/22	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA804A	クアラルンプール	成田国際空港	上昇中、第2エンジンに振動が発生し、排気ガス温度が高いことを示す計器表示があったため、当該エンジンを停止し、航空交通管制上の優先権を要請のうえ、引き返した。	イレギュラー運航
2/22	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	ニューヨーク	成田国際空港	機長に通知せず、危険物を輸送した。	
2/23	日本航空	ボーイング式737-800型	JA322J	新千歳空港	福岡空港	地上走行中、機内に煙が発生したため、誘導路上にて脱出用スライドを使用して搭乗者を脱出させた。	航空事故
2/23	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA02GR	重慶	成田国際空港	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	
2/24	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA03GR	成田国際空港	佐賀空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があったため、引き返した。	イレギュラー運航
2/24	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA04AN	中部国際空港	上海(浦東)	離陸滑走中、管制官から離陸中止の指示に従い、離陸を中止した。	
2/24	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	成田国際空港	上海(浦東)	社内調査の結果、運航乗務員が必要な訓練を受けずに乗務したことが判明した。	
2/24	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	成田国際空港	アンカレッジ	社内調査の結果、運航乗務員が必要な訓練を受けずに乗務したことが判明した。	
2/25	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA847A	中部国際空港	熊本空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
2/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NY	新千歳空港	東京国際空港	巡航中、対地接近警報装置が不作為であることを示すライトが点灯した。	
2/26	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA811X	中部国際空港	那覇空港	整備作業後の確認に不備があった。	
2/26	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA807A			定時整備中、乗客用の一部の酸素マスクが正常に落下しない状態であることを発見した。	
2/26	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA817P	関西国際空港	那覇空港	運航乗務員が、航空身体検査基準に適合しないまま業務を行ったことが判明した。	
2/27	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA816P	那覇空港	成田国際空港	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	
2/27	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA816P	成田国際空港	那覇空港	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	
2/28	琉球エア・コミュニーター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA818C	那覇空港	新石垣空港	巡航中、後方左側の非常用扉が確実に閉じられていないことを示すライトが点灯したため、引き返した。	イレギュラー運航
2/29	全日本空輸	エアバス式A320-211型	JA8400	東京国際空港	八丈島空港	離陸滑走中、離陸のための速度が計器表示されなかったため、離陸を中止した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
3/1	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NL	神戸空港	新千歳空港	着陸時、最大着陸重量を超過した。	
3/2	日本航空	ボーイング式777-200型	JA709J	東京国際空港	ホノルル	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/2	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA04AN	成田国際空港	杭州(中国)	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/2	スターフライヤー	E7ハス式A320-214型	JA07MC	東京国際空港	福岡空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
3/2	東北エアサービス	Aエロハシアル式AS332L1型	JA6777	袖木ヘリポート	仙台空港	運航整備中、第1エンジンの圧縮機のブレードに損傷を発見した。	
3/2	ジェイエア	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA203J	花巻空港	新千歳空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、前脚及び主脚が正常に格納されていないことを示すライトが点灯したため、引き返した。	イレギュラー運航
3/3	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA807A	ハノイ	東京国際空港	上昇中、第2エンジンに振動が発生し、排気ガス温度が高いことを示す計器表示があったため、当該エンジンを停止し、航空交通管制上の優先権を要請のうえ、引き返した。	イレギュラー運航
3/3	ディーエイチシー	川崎BK117B-2型	JA6651			耐空証明検査の書類確認の結果、救急用具の点検期限が超過していることを発見した。	
3/3	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	小松飛行場	仙台空港	地上走行中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
3/3	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA04RJ	大分空港	大阪国際空港	降下中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
3/3	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA807A	ハノイ	東京国際空港	降下中、左右燃料タンクの燃料量の差異が拡大し、運用限界を超過した。	
3/4	日本航空	ボーイング式767-300型	JA619J	成田国際空港	ホノルル	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
3/4	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA801B	福江空港	福岡空港	上昇中、第2エンジンから異音及び振動が発生したため、当該エンジンを停止し、航空交通管制上の優先権を要請のうえ、引き返した。	イレギュラー運航
3/4	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA801B	福江空港	福岡空港	上昇中、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
3/5	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA05FJ	静岡空港	福岡空港	到着後、輸送が禁止されている危険物を輸送したことが判明した。	
3/6	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	ニューヨーク	成田国際空港	危険物を誤輸送した。	
3/7	日本航空	ボーイング式777-200型	JA772J	東京国際空港	福岡空港	社内調査の結果、滑油系統の金属片検知器の点検期限を超過していることが判明した。	
3/7	琉球エア・コミュニティー	デ・ハビランド式DHC-8-103型	JA8972	新石垣空港	与那国空港	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	
3/7	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	フランクフルト	アムステルダム	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	
3/7	日本航空	ボーイング式767-300型	JA655J	東京国際空港	女満別空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
3/7	日本航空	ボーイング式787-8型	JA823J			定時整備中、胴体の外板に剥離を発見した。	
3/8	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	那覇空港	神戸空港	着陸後、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
3/9	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	フランクフルト	ミラノ	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/9	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA02GR	武漢	成田国際空港	運航整備中、胴体の外板に損傷を発見した。	
3/9	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA627A	デリー(インド)	成田国際空港	到着後、重量・重心位置に差異があったことが判明した。	
3/10	北海道エアシステム	サブ式SAAB340B型	JA03HC	函館空港	札幌飛行場	副操縦士が資格要件を満たさない期間において、着陸操縦を実施した。	
3/11	ジェットスター・ジャパン	E7ハス式A320-232型	JA04JJ	関西国際空港	台北(桃園)	進入中、脚下げ操作を実施したが、全ての脚が確実に下りていることを示すライトが点灯しなかった。	
3/11	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA778A	成田国際空港	サンフランシスコ	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NT			整備作業中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
3/13	全日本空輸	ボーイング式737-700型	JA18AN	上海(浦東)	中部国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により操作を行った。	
3/14	日本航空	ボーイング式767-300型	JA621J	シンガポール	東京国際空港	着陸時、最大着陸重量を超過した。	
3/14	日本航空	ボーイング式737-800型	JA306J	岡山空港	東京国際空港	出発前の点検中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
3/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NT			整備委託先で実施した整備作業の記録を確認した結果、第1エンジンの覆いのリベットに誤った部品番号のものが使用されていることが判明した。	
3/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737N	新千歳空港	中部国際空港	巡航中、航空機衝突防止装置が不動作であることを示す計器表示があった。	
3/15	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8323	那覇空港	成田国際空港	離陸後、高揚力装置展開時の運用限界速度を超過した。	
3/16	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8579	秋田空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NQ	東京国際空港	那覇空港	離陸滑走中、機体の離陸体勢が整っていないことを示すライトが点灯したため、離陸を中止した。	
3/17	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8324	東京国際空港	高松空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事態の概要	備考
3/17	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA812P	新千歳空港	関西国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/17	エアージャパン	ボーイング式767-300F型	JA601F	那覇空港	シンガポール	到着後、飛行計画に必要な装備がされていないことが判明した。	
3/18	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA04RJ	仙台空港	仙台空港	降下中、最大運用限界速度を超過した。	
3/19	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ	名古屋飛行場	福岡空港	受託禁止の危険物を、受託手荷物として輸送した。	
3/20	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8525	石垣空港	那覇空港	離陸滑走中、鳥衝突により高揚力装置(前縁フラップ)の作動機構が損傷した。	
3/21	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA624A	広州	成田国際空港	巡航中、副操縦士用の酸素マスクに不具合を発見した。	
3/23	日本航空	ボーイング式737-800型	JA327J	小松飛行場	東京国際空港	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
3/24	朝日航洋	ソルスキー式S-76C型	JA6920	元町場外離着陸場	東富士場外離着陸場	飛行中、警報機能に不具合が発生した。	
3/24	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA08KZ	シカゴ	ニューヨーク	到着後、無申告危険物を輸送したことが判明した。	
3/24	日本航空	ボーイング式767-300型	JA655J	東京国際空港	旭川空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/25	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8342	美保飛行場	東京国際空港	着陸後、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
3/26	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA18JJ			整備作業中、第1エンジンの点火系統の部品に誤った部品番号のものが取り付けられていることが判明した。	
3/26	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8938	宮古空港	那覇空港	巡航中、右燃料タンクの燃料油量計の表示に不具合が生じた。	
3/28	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8996	新石垣空港	那覇空港	出発後、重量・重心位置に差異があることが判明した。	
3/28	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA602A	東京国際空港	岡山空港	進入中、高揚力装置(スラット)の非対称を示す計器表示があった。	
3/28	日本貨物航空	ボーイング式747-400F型	JA07KZ			定時整備中、右胴体脚の非常脚下げ装置の不具合を発見した	
3/29	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ			定時整備中、高揚力装置(フラップ)が非常用作動しなかった。	
3/29	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA59AN	那覇空港	宮古空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/30	朝日航洋	マクドネル・ダグラス式MD900型	JA6906	小出場外離着陸場	黒二下場外離着陸場	運航整備中、右側の降着装置の一部に損傷を発見した。	
3/30	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA852A	秋田空港	新千歳空港	巡航中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/30	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA461A	松山空港	中部国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
3/30	ピーチ・アビエーション	エアバス式A320-214型	JA810P	関西国際空港	ソウル(仁川)	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/31	全日本空輸	エアバス式A320-211型	JA8997	東京国際空港	石見空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
3/31	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-400型	JA8996	那覇空港	宮古空港	出発前の点検中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
3/31	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2B19型	JA03RJ	大阪国際空港	福島空港	運用許容基準の適用に不備があった。	
3/31	春秋航空日本	ボーイング式737-800型	JA01GR	成田国際空港	佐賀空港	離陸前、航空機衝突防止装置が不作為であることを示す計器表示があった。	
3/31	日本航空	ボーイング式737-800型	JA311J	東京国際空港	大分空港	進入中、管制指示高度を逸脱した。	